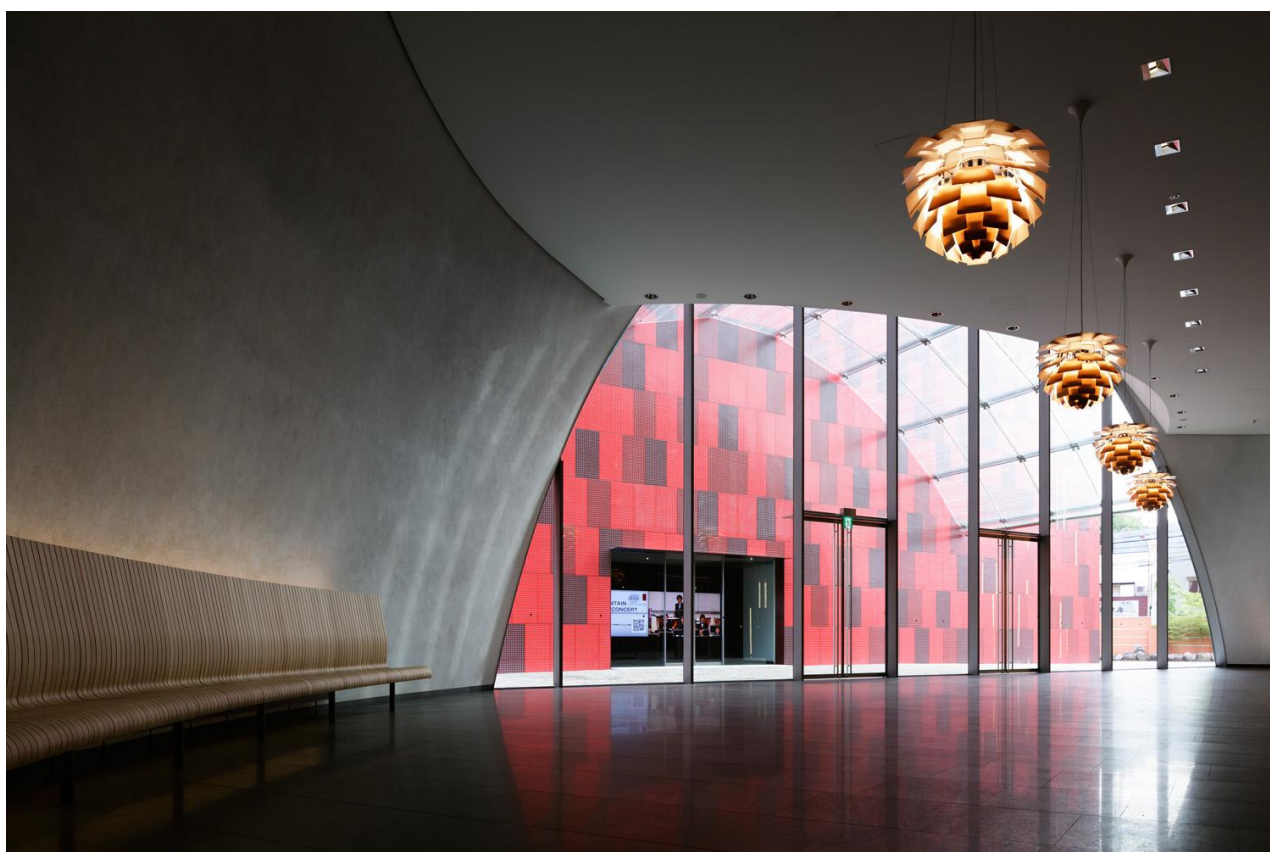


2024 年度 FD 活動報告書



目次

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録	3
FD 研修会報告	4
各コースの FD 活動の記録	6
シラバスチェック	15
授業に関するアンケート	19
卒業・修了時満足度調査	21
FD 委員会規程	24
大学院 FD 委員会規程	25
資料 1 : FD 研修会 (チラシ)	26
資料 2 : 授業に関するアンケート結果	28
資料 3 : 卒業時満足度調査結果	33
資料 4 : 修了時満足度調査結果	42

FD 委員会/大学院 FD 委員会の記録

2024 年度の FD 委員会と大学院 FD 委員会は、音楽学部と音楽研究科の一体的な教育改善を図る為、一部の会議を合同で実施した。

【学部第 1 回・大学院第 1 回】 2024 年 5 月 30 日（木）

- 議題：①委員会規程の検証
②委員会 PDCA の検証
③年間スケジュール
④2023 年度授業に関するアンケート結果報告
⑤2024 年度授業に関するアンケート実施要領
⑥FD 研修会について
⑦学外 FD 活動情報

【学部第 2 回・大学院第 2 回】2024 年 7 月 18 日（木）

- 議題：①2023 年度卒業時満足度調査結果
②2024 年度開講科目シラバスチェック報告
③学外 FD 活動報告

【学部第 3 回・大学院第 3 回】 2024 年 10 月 10 日（木）

- 議題：①退学率と休学率
②学修行動調査について
③学修成果の可視化への取り組み
④2023 年度 FD 活動報告書
⑤学外 FD 活動報告

【学部第 4 回・大学院第 4 回】 2024 年 12 月 5 日（木）

- 議題：①2024 シラバスチェック実施要領
②2024 年度 F D 研修会について（教職 FD との共同開催）
ワークショップ：シラバスチェックをワークショップ形式で実施

FD 研修会報告（教職 FD 共同開催）

【研修テーマ】

- 講演 1 “はじめて”の学生へのアプローチで大切にしてきたこと
 ～教職ピアノ実習 1 今年度より設置された初心者クラスにおける実践報告～
- 講演 2 時間を変えた模擬授業の実践
 ～教職実習を想定した『教職ピアノ4』授業について～

【目的】

- ①「授業に関するアンケート」結果を参考に学生による授業評価の高かった科目について、その授業展開方法を紹介する
- ②学生の声を生かすことで「学修者本位の教育」実現につなげる
- ③授業の工夫を広く共有し、全学的な授業改善を図る

【研修日時】2025 年 2 月 14 日（金）13：30～15：30

【講師】

末石忠史（本学教員）
 津布楽杏里（本学教員）

【受講者数】

教員	職員	計
25 名	3 名	18 名

【受講者アンケートより】 アンケート回答者数：13 名（教員のみ）

設問 1 今回の研修に参加して良かったと思いますか。

とても良かった	11 人
良かった	2 人
あまり良くなかった	0 人
良くなかった	0 人

設問 2 研修内容について理解することができましたか。

理解できた	12 人
どちらかといえば理解できた	1 人
どちらかといえば理解できなかった	0 人
理解できなかった	0 人

設問 3 今回の研修は研究活動に活用できそうですか。

理解できた	11 人
どちらかといえば理解できた	2 人
どちらかといえば理解できなかった	0 人
理解できなかった	0 人

設問 4 本日の研修会の感想・質問

- ・ FD 研修会は毎回とても勉強になるので、今回も楽しみにしていました。津布楽先生のお話では「学生は他者からの学びを期待している」というところが印象に残りました。ピアノ実習という音楽的な授業でも、高度成長・自分至上主義から、共生・共感へと学生の意識も変化していると実感できました。末石先生のお話には終始笑っぱなしではありましたが、その中でもはじめての人には「はじめて」のやり方があること、「思ったように動かせない」だけで、多くの学生ができないベリーフに陥っているという点について、教員が適切な方向に導いていく必要があるのだと、教育者はかくあるべきという姿を示していただきました。音大というと学生もその道ではすでにプロレベルなのでつい「釈迦に説法かな」と遠慮しがちですが、よき伴走者となるべく今後も研鑽を積んでいこうと気持ちが引き締まりました！
- ・ 具体的でわかりやすく、経験に基づくアイデアや考え方は説得力があり、様々な場面で活用出来ると思いました。とても参考になり、素晴らしい研修会でした。
- ・ はじめての学生初級とのお話でしたが、全ての級で講座でも参考になるお話しでした。
- ・ 私は教ピには直接関係無いのですが、両先生のお話は個人レッスンにも大変役立ちました。

設問 5 今後取り上げてほしいテーマ

- ・ 末石先生の上級クラスのお話も聴いてみたいです。
- ・ 引き続き各分野のプロフェッショナルである先生方のお話を聞きたいです。音響デザインや、音楽環境創造など、職人的な業界の先生のご登壇もぜひお願いします！
- ・ 休みがちな学生へのメンタル面の対応方法。素人判断でのアドバイスは逆効果な事もあるので。

各コースの FD 活動の記録

報告月	コース	活動内容
5 月	ピアノ	4 月 1 日：ピアノコース全体教員説明会（オンライン併用）開催し、ピアノコースの現状と課題、授業運営や今年度のイベントなどについて、幅広く情報共有と確認を行った。また学修成果の可視化への取り組みについて、説明を行った。 4 月 13 日：ピアノ部会において、今年度の海外教員オンラインレッスン、各種オーディションについて、内容の検討を行い、幅広く意見交換と情報共有を行った。
5 月	弦楽器	4 月 18 日の弦楽器コース運営委員会で各役職のメンバーが承認された。このことにより今年度から新たな体制として発足し、コースの円滑な運営に努めることになった。
5 月	打楽器	新年度をスタートするにあたりコース全体でのミーティングを開催し、授業を含むコース運営が円滑に進められるよう、共通の認識を再確認しました。
5 月	電子オルガン	4 月 4 日に部会を開催。実技試験、演奏会の内容見直しを教員全員で検討し、今年度の方針を決定した。
5 月	ジャズ&アメリカンミュージック	2024/4/12&15&22&29 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、履修及びそれに関連する問題、授業やレッスンに関する案件等についての意見交換を行いました。
5 月	現代邦楽	4 月 1 日に GH コース教員コアメンバーが集まり（一部はオンライン参加）、ミーティングを行った。留学生を含む新入生の入学によって、合奏初心者が多く在籍することになる合奏授業の指導方針の検討や、授業や演奏会で取り上げる題材（曲目）の選定などについて、意見交換や各種策定を行った。また、現代邦楽研究所が所蔵する委嘱作品の楽譜を死蔵することなく広く演奏していただける方法の検討などを、今後の課題として認識した。
5 月	声楽	・4/10(水) 16:00～18:00 e カフェ APAA 会議 新年度履修登録について共有、教員全体会議の準備 ・4/13(土) 19:00～20:15 Google Meet によるオンライン会議「声楽コース教員全体会議&FD 会」参加者：30 名 ・4/22(月) 12:10～12:50 e キューブ 5F 会議室 第 1 回声楽部門運営会議 新年度スケジュール、授業成果発表の共有 ・4/30(火) 12:30～13:20 糸竹「台湾国立東華大学音楽学部ランチミーティング」
5 月	ミュージカル	2024 年 4 月 2 日夏の授業成果発表に向けてのカリキュラムを担当教員で話し合い、円滑な授業進行の為のスケジュール案を提案しました。
5 月	バレエ	2024 年 4 月 12 日（金）、17 日（水） AP・AA・バレエ研究の担当教員会議：前期公演の作品の配役を振付担当教員と一緒に検討。授業の中で、振付とリハーサル、パドドゥをどのようなスケジュール

		で進めていく計画を立てた。必修授業のバレエ研究について、その都度、話し合いながら進めていくことを確認した。
5月	声優アニメソング	4月4日 1年生履修登録アドバイジング、今後の授業などについて APAA 会議。 4月12日 留学生の対応で APAA 情報共有いたしました。
5月	音楽環境創造	・2024年4月11日(木) コースの新しい主科、舞台衣装がスタートするが、コースの方針や教育目標について情報を共有した。 ・2024年4月11日(木)「公演実習」の方向性や進め方などを専任講師会議で共有した。
6月	ピアノ	5月9日：ピアノ部門運営会議を開催し、ピアノコースの現状、授業運営や今年度のイベントなどについて、幅広く情報共有を行った。また、学修成果の可視化への取り組みについて、現状や課題、問題点等について詳細な検討と討議を行った。 5月9日：ピアノ部会において、前期実技試験と入試について、確認と情報共有を行い、内容と実施方法について詳細な討議を行った。 5月18日：ピアノ部会において、今年度の海外教員オンラインレッスンや各種オーディションについて、内容の検討と討議を行った。
6月	打楽器	経年劣化している楽器について機材楽器室の担当者と相談し、対応しました。
6月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2024/5/25&26AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、クラスミーティングの内容及び学生の学習環境等についての話し合いを行いました。
6月	声楽	・5/20(月) 12:10～13:00e カフェポピュラークラスコンサート～Pops Vocal Concert 打ち合わせ 6/29のビックマウスでの演奏会について、打ち合わせを行った。 ・5/24(金) 13:50～14:30 e カフェ オラトリオ実習の授業運営に関して、主担当教員と打ち合わせを行った。 ・5/27(月) 20:00～22:00 オンラインによる APAA 会議 学園オペラ「ヘンゼルとグレーテル」キャスティングオーディションについて、創立 100 周年記念式典「第九」稽古についてのディクシオン・パート練習・副指揮者稽古等について、前期声楽実技試験の曲目提出フォーム等に関する打ち合わせを行った。
6月	声優アニメソング	5月13日 留学生対応で APAA 情報共有、会議いたしました。 5月16日 出席状況などの確認のため APAA 情報共有いたしました。 5月24日 留学生対応のため、教員と情報共有いたしました。 5月28日 1年生の授業内容について APAA と協議いたしました。
6月	ダンス	2024年5月26日(日) 5月29日(水) AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の履修状況や出席状況等を報告・共有し、履修についてや、個別アドバイジングに向けて生活指導・学生対応の方針等を検討し、意見交換を行った。
6月	音楽環境創造	5月12日 専任講師によるオンラインミーティングを開催。コース企画演奏会、今年度の学生の動向について意見交換が行われた。今年度の新入生対応の反省点を、次年度に活かせるように整備を開始した。
7月	ピアノ	6月13日：ピアノ部会において、前期実技試験について、実施方法と課題について詳細な討議を行った。 6月13日：ピアノ部会において、今年度の海外教員による特別レッスン実施について、その内容や課題について検討と討議を行った。

7月	管楽器	2024年6月13日第2回吹奏楽WGを開催し、PDCAのDにあたる授業運営報告と検証を行い、来年度へ向けて体制の検討も重ねて行った。各楽団の方向性を再確認し、とても前向きな会議となった。
7月	弦楽器	弦楽器コース運営委員会が6月6日に開催され、100周年記念イベントに向け、教員の協力体制について意見が交わされた。また、様々な事情によって通学が困難、または通学に支障が出る学生に対する対処についても意見交換を行った。今後の試験のスケジュールについて確認と、今年度からの新規取り組みである地方出張レッスンについて報告がなされた。
7月	打楽器	FD委員会からの指摘を受け、該当授業のシラバスの変更をしました。
7月	ジャズ&アメリカンミュージック	■2024/6/12&17&22 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、コースの広報戦略について、学生対応について等の話し合い、修学アドバイジングの内容等についての確認及び申し合わせを行いました。
7月	声楽	・6月13日(木)19:30～2025年度授業体制について打ち合わせを行いました。 ・6月24日(月)19:30～AA 打ち合わせ 100周年記念「第九」声楽コース学生の稽古について検討しました。
7月	声優アニメソング	6月10日(月) APAAにより留学生対応、情報共有をいたしました。 6月14日(金) オフィス会議 後期副科配当について協議いたしました。 6月17日(月) APAAにより留学生対応、情報共有をいたしました。
7月	ダンス	2024年6月16日(日) AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の履修状況や出席状況、個別アドバイジング内容等を報告・共有し、前期後半・後期に向けての生活指導・学生対応の方針等を検討し、意見交換を行った。
7月	ワールドミュージック	5月 音楽表現演習担当者打合せ。学生の初見演奏力向上のカリキュラムの設定についてを話し合う。 ギター、マンドリン特別レッスンの振り返り アドバイザーからの修学面談の報告を共有 6月 音楽表現演習 5月に決めた初見演奏のカリキュラムについての検証をギター担当者で行う
9月	ピアノ	7月4日：ピアノ部門運営会議において、コースイベントや特別レッスンなどについて、幅広く情報共有を行うとともに、学修成果の可視化や募集対策についても詳細な意見交換を行った。 7月17日：ピアノ部会において、学修成果の可視化についての具体的な課題や改善点等について、討議と意見交換を行った。また、後期のイベントや募集対策についても幅広く情報共有を図った。
9月	管楽器	2024年7月16日(火) 第2回吹奏楽指導者マスタークラス W・Gを開催。今年度新入生より、オリジナルとマスタークラスの履修制限を撤廃した影響を話し合った。授業担当から、双方向にメリットが多く授業運営に特に問題が無かったと報告を受け、打楽器コースでも予めコース内でオリジナルとマスタークラスの統合について議論して頂き、多くの賛同を得た事より、来年度から全ての学年で履修制限を無くす方向で意見が一致し、事務方と最終調整を図る事となった。
9月	打楽器	前期授業内で問題になった案件をコース全体での問題、課題と捉え、大学事務局、規律委員会と連携しながら担当教員、専任教員で協議し引き続き対応して行く事としました。

9月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2024/7/10&17&25, 8/17&24 AP&副 AP&AA によるオンライン会議において、Jazz 特別奏法研究についての情報交換及び確認、アンサンブル授業運営の件、個別学生間の問題等についての情報交換と意見交換等についての話し合いを行いました。
9月	現代邦楽	前期の学学生の様子の確認や後期の合奏授業の題材の策定なども含めて、夏休み期間中の特別講演のリハーサルなどの機会を活用して、当コース教員間で断続的に情報共有や打ち合わせを行った。
9月	声楽	・7月16日(火)第2回声楽部門運営会議 オンデマンドによる各授業の報告 ・7月25日(木)16:00～e キューブ 5 階応接室 100 周年武道館音楽関係打ち合わせ ・7月29日(月)10:30～e キューブ 5 階大会議室 100 周年武道館音楽関係打ち合わせ ・8月8日(木)10:00～e キューブ 3 階 100 周年武道館合唱打ち合わせ
9月	ミュージカル	2024 年 7 月 1 日 学生の学習意欲の向上をめざし、授業成果発表の有り方を見直し担当教員間で意見交換を行った。
9月	バレエ	2023 年 9 月 1 日 AP, AA 教員会議：ハラスメント委員会による「ハラスメント防止チェックシート」共通項目に付け加えるバレエコースのチェック項目作成に関して、意見交換を行った。
9月	声優アニメソング	7月9日 10月公演について教員会議。 7月17日 前期欠席が多い学生について教員と情報共有。 7月18日 今後イベントについて専任会議。 8月2日 後期副科履修についてオフィス会議。
9月	ダンス	2024 年 8 月 26 日(月) コース AP・専任教員・非常勤教員会議：後期に向けて授業進行や成果発表公演の方針等を検討し、意見交換を行った。
9月	ワールドミュージック	7月16日 WM 概論、卒業研究、音楽表現演習担当者会議前期授業に関する意見交換および、前期末に行う発表会（7月29日）の計画 8月1日 担当者会議 前期の成績評価、発表会の振り返り 8月13日 アカデミックプロデューサー、アカデミックアドバイザー、クラシックギターレッスン教員によるギター学生への対応等の会議 8月25日 A P および A A 会議 学修成果の可視化の整備
9月	音楽環境創造	8月29日（木）必修授業「公演実習」の今後の在り方について、専任の先生方を中心に意見交換が行われた。
10月	ピアノ	9月19日：ピアノコース部門運営会議開催。後期のコースイベント、特別レッスンなどについて、コース授業等について幅広く情報共有を行うとともに、募集対策についても意見交換を行った。 9月19日：ピアノ部会において、後期実技試験、オープンキャンパスなどイベント等について討議を行い、内容等を確認決定した。また、来年度の演奏会・イベントの計画などを含めたコース運営について、幅広く情報共有と意見交換を行った。
10月	管楽器	2024 年 9 月 24 日（火）第 3 回吹奏楽指導者マスタークラス W・G を開催。8/30 に教学センター長とコース AP で協議を行い、来年度から現行の指導者 MC の授業を金曜日 4、5 限に移動すること、これまでの履修制限を全学年で撤廃する事を説明し了承された。これを受け、近々ポータルにて関係者全員に周知の段階となり、対象授業の最終確認を行った。中学校の部活動がやがて地

		域移行されることなど、より社会に役立つスキルを身に付けるためにも、学生に有益なカリキュラムの構築に、引き続きコース全体で検討して行きたい。
10 月	打楽器	打楽器コース各学年の代表と専任教員でコースの現状を共有とし、今後の対応などについて相談をしました。
10 月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2024/9/20 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、アドバイジングに関する情報交換、それに伴う意見交換を行いました。
10 月	声楽	・9/13(金)16:00～e キューブ 5 階応接室 100 周年武道館音楽関係打ち合わせ ・9/24(火)13:00～14:00 e キューブ 5 階応接室 100 周年武道館音楽関係打ち合わせ ・9/24(火)13:00～14:00 e キューブ 5 階応接室 100 周年武道館音楽関係打ち合わせ
10 月	ミュージカル	2024 年 9 月 2 日(月)専任教員間で来年度の授業成果演奏会について学生にとって有益でかつ円滑に授業進行ができるよう運営方法について意見交換を行った。
10 月	バレエ	2024 年 9 月 2 日 AP/AA 担当者会議 今年度の試験について、日程、試験問題（アンシェママン）についてなど実施方法を決めた。
10 月	声優アニメソング	9 月 12 日 専任教員会議。コース内情報共有しました。 9 月 27 日 後期レッスンについて APAA 会議いたしました。
10 月	ダンス	2024 年 9 月 29 日(日) AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の情報を報告・共有し、後期に向けての生活指導・学生対応の方針等を検討し、意見交換を行った。
10 月	音楽環境創造	9 月 19 日（木）専任教員：音環のカリキュラム全般について、意見交換を行った。
11 月	ピアノ	10 月 18 日：ピアノ部会において、今年度のイベント実施に際しての規定を協議し、内容等について確認決定した。 10 月 21 日：ピアノ部会において、来年度の授業実施計画や授業改善策などについて検討と討議を行い、実施に向けた情報共有も行った。
11 月	打楽器	合奏授業において、複数名の教員で担当している授業では授業内容や使用楽器の状況などこまめに連絡をとりあい対応しました。
11 月	電子オルガン	2024 年 10 月 21 日 12/10 に前田ホールにて開催される「ブルーアイランドの第九」の出演者オーディションを電子オルガンコース教員全員により実施し、決定しました。
11 月	ジャズ&アメリカンミュージック	10/6&9&23 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、クラスミーティングの内容等の確認、履修登録や取消しに関する情報交換、その他学生対応等に関する意見交換を行いました。
11 月	声楽	10/22(火) マスタークラス 18:30～21:00 シルバーマウンテン 1 F ウィーン宮廷歌手をお招きしての 4 名の受講生の公開レッスンに、40 名の学生・教員が参加しました。
11 月	ミュージカル	2024 年 10 月 21 日コース各授業担当教員らでメンタルケアについて、該当学生の件を共有しながら意見交換をおこなった。

11 月	声優アニメソング	10 月 1 日 APAA 会議、後期の授業およびレッスンについて確認をいたしました。
11 月	ダンス	2024 年 10 月 18 日(金) AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の情報を報告・共有し、履修取消期間に向けて対応の方針等を検討し、意見交換を行った。
11 月	ワールドミュージック	9 月 17 日学修成果の可視化の方法に関して副学長、教学センター、コースアカデミックアドバイザーと意見交換 9 月 26 日学修成果の可視化に関する意見交換 学部長、教学センター、FD 委員会委員長 9 月 30 日学修成果の可視化に関し具体的方法の調整（コース AA とミーティング） 10 月 9 日学修成果の可視化に関する AA およびレッスン担当者との意見交換 10 月 28 日ギターレッスン担当、授業教員ミーティング 各学生の受講状況、レベルの報告と今後の方針の相談
11 月	音楽環境創造	2024 年 11 月 4 日(月) 退任する教員の受け持ち講座について、授業のあり方、可能性について検討した。
12 月	ピアノ	11 月 14 日：ピアノコース部門運営会議において、今年度の募集状況、後期試験について情報共有し、幅広く意見交換を行なった。 11 月 14 日：ピアノ部会において、2025 年度の演奏会・イベント実施について協議を行い、内容等について検討、情報共有を行なった。 11 月 19 日：ピアノ部会において、来年度の授業実施計画について、具体的な検討と討議を行い、方針を確認した。
12 月	打楽器	学生が練習をするにあたり、部屋や楽器の状況(部屋の広さ、楽器数や種類)について感じている問題点や改善案を聞き、それらに対応できるよう教員で話し合いを持ちました。
12 月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2024/11/18 AP&副 AP&AA によるオンライン会議を開催しました。授業や日常での学生の様子、コース運営上での問題点やその対策等について話し合いました。
12 月	声楽	・11/13(水)、20(水) 14:10～100 周年関連「第九」打ち合わせ ・11/19(火) 15:00～新年度歌曲講座 4 日本歌曲担当打ち合わせ ・11/22(金) 14:00～新年度歌曲研究 5 英米歌曲担当打ち合わせ
12 月	バレエ	2024 年 11 月コース担当者会議：学年末試験の課題アンシェヌマン
12 月	ダンス	2024 年 11 月 16 日(土) AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の情報を報告・共有し、履修状況の確認、出席率が低い学生に対しての指導や対応の方針等を検討し、意見交換を行った。
12 月	ワールドミュージック	10 月 28 日 AP、ギター教員 2 名の意見交換会 ・コース専門選択科目および実技レッスンの指導方針について 各学生の実技レベルの現状、日ごろの受講の様子を報告し、指導方法を検討した。 ・学生へ接する際の教員としての心構えについて ・クラシックギターと他の楽器とのアンサンブルの可能性について・今年度後期の実技試験に関する意見交換

12 月	音楽環境創造	11/29（金）新任の先生方に、授業の方法やレッスンの方法について詳しい説明を実施した。
1 月	ピアノ	12 月 5 日：ピアノ部会において、2025 年度の演奏会・イベント等の内容、スケジュール等について確認と情報共有を行なった。 12 月 5 日：ピアノ部会において、来年度の授業運営について、現状の把握と問題点等について討議を行い、運営方針を決定した。
1 月	打楽器	学生の自主活動において起きた問題について、専任教員と職員でミーティングをし解決に向けて対応しました。
1 月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2024/12/5&21 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、キャリア支援に関する意見交換、卒業試験に関する打ち合わせ等を行いました。
1 月	現代邦楽	2025 年 1 月 16 日に現代邦楽コース教員大部会&懇親会を開催予定。
1 月	バレエ	2024 年 12 月 11 日（水）コース担当教員会議：現在の AP、AA と 2025 年度の AP と今後について協議した。3 クラス体制がなくなるので、まず、シラバスを再検討し、公演については一つのコースとしてどのような編成で公演していくか協議を重ねていくことになった。
1 月	声優アニメソング	12 月 17 日（火）AP/AA 会議。担当している学年の情報共有、履修状況確認を行いました。
1 月	ダンス	2024 年 12 月 15 日（日）21（土）AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の情報を報告・共有し、出席率が低い学生に対しての指導や対応の方針等を検討し、意見交換を行った。
1 月	音楽環境創造	2025 年 1 月 6 日（月）2025 年度授業内容について、特定の授業について意見交換を実施、その上で一部授業内容を調整する方向で確認した。
2 月	ピアノ	1 月 28 日：ピアノ部会において、学部学年末実技試験実施について協議を行い、内容の確認と情報共有を行なった。 1 月 30 日：来年度の特別クラス生選考試験について協議を行い、詳細な検討と確認、また幅広い意見交換を行った。
2 月	弦楽器	弦楽器コース運営委員会にて来年度の体制について報告とディスカッションが行われた。多様化する学生への対応として AP を中心とした体制作り、また情報の円滑な共有を課題として議論された。
2 月	打楽器	大学院の授業において今後の授業内容について、担当教員で話し合いを持ちました。
2 月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2025/1/20&21 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、履修科目の確認や詳細についての情報交換・意見交換等を行いました。
2 月	現代邦楽	2025 年 1 月 16 日に現代邦楽コース教員大部会&懇親会を開催しました。 議事： 1) 現代邦楽研究所の本学への移管以来の、現代邦楽コース・大学院器楽専攻和楽器・現代邦楽研究所の活動状況や学生・研究生在籍状況等の総括 2) 近年の現代邦楽コース・大学院器楽専攻和楽器・現代邦楽研究所の活動状況や学生・研究生在籍状況等についての分析と検討。 3) 現 AP から新 AP への交代の発表。 4) 3)に伴う 2025 年度の指導陣体制の確認。

		5) 留学生(特に中国からの留学生)の増加に伴う合奏授業に求められる運営手法の変化についての検討・考察 6) 各学生、各先生の活動状況等についての情報共有。
2月	声楽	・1/11(土) ポピュラスラス担当者会議 ヴォーカル基礎演習、ヴォイストレーニング・ラボ、ポップスアンサンブル実習、アコースティック・ミュージカルスタディの授業担当者により、来年度の授業計画について話し合いを行った。
2月	ミュージカル	2025年1月6日(月) コース4年授業担当教員会議：来年度の卒業公演企画、授業進行に際し、これまでの問題点を解消すべく意見を共有し改善規定を話し合った。
2月	バレエ	1月10日(金) AP/AA 担当教員会議 同日に行われた学年末試験に欠席した学生の追試験の方法を協議。来年度の公演について、演目の検討を進めた。いくつかの授業の担当教員の変更について確認・協議し、確定した。 1月29日(水) 全体会議 新年度からの AP/副 AP/AA を紹介。設立当初からグローバルクラス・谷桃子バレエ団クラス・牧阿佐美バレエ団クラスと3つのクラスに分かれて運営してきたが、クラスを選んで入学してきた最後の学年が卒業するのでクラス名が無くなること、今後も東京シティ・バレエ団・谷桃子バレエ団・牧阿佐美バレエ団の3つのバレエ団と提携しながらコース運営していくことを共有し、新しい形での授業運営について意見交換をした。 1月29日(水) AP/AA 担当教員会議 学年末試験、卒業試験の実施方法について、前回からの反省を踏まえてさらに改善すべきところを協議した。来年度の前期公演の演目と指揮者の検討を進めた。
2月	声優アニメソング	1月24日 コース部会を開催、24年度の報告と次年度に向けて意見交換を行いました。 1月29日 成績不振者の対応など AA の先生を中心に協議いたしました。
2月	ダンス	2025年1月8日(水)AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の情報を報告・共有し、出席率が低い学生に対しての指導や対応、2025年度履修登録に向けての方針等を検討し、意見交換を行った。
2月	音楽環境創造	・新任教員へのシラバス指導：2025年度に授業を受け持つ新任の先生方に、シラバス記入に関しての指導を個別に実施。
3月	ピアノ	2月1日：ピアノ部会において、学部学年末実技試験実施状況について報告と情報共有を行い、課題等について検討と意見交換を行った。 2月6日：ピアノ部会において、卒業試験実施状況報告を行い、結果について協議を行った。また、来年度の特別クラス生選考、各種入試イベント内容等についても協議を行い、詳細な検討と意見交換を行った。 2月8日：ピアノ部会において、入試実施状況と来年度のコース運営について、幅広く情報共有と検討を行った。
3月	打楽器	アンサンブル授業担当教員を中心に、学生の総合的な意識の変革を促す授業のあり方について会合を持ちました。
3月	ジャズ&アメリカンミュージック	■ 2025/2/7 AP&副 AP&AA によるオンライン会議にて、3月後半に予定されている履修アドバイジングについての情報交換・意見交換等を行いました。
3月	声楽	・2/1(土)18:00～声楽コース AP、副 AP、AA、新年度副 AP による会議を行った。 ・2/13(木) 12:00～ポピュラスラス担当者による新年度授業についての会議を行った。

3 月	声優アニメソング	2 月 16 日（日）歓送迎会を開催、講師 17 名助手 2 名参加で和やかな会になり、次年度に向けての意見交換もできた。
3 月	ダンス	2025 年 2 月 16 日(日) AP・AA 会議：各 AA が担当している学生の情報を報告・共有し、取得単位数等の確認、新年度に向けて履修指導に対する方針等を検討し、意見交換を行った。
3 月	ワールドミュージック	1 月 1 6 日 教員会議においてギター客員教授を迎えて、ギターレッスンの指導方針を話し合う 1 月 2 7 日 WM 卒業研究、演奏論担当者会議 後期の成績についての話し合い、各授業の様子の報告を行い、来年度の授業内容の方向を決める 1 月 3 0 日音楽表現演習担当者会議 学年末の評価についての話し合い、試験時の演奏における評価 2 月 4 日 実技試験終了後に来年度のカリキュラムについての最終打ち合わせ
3 月	音楽環境創造	2024 年 2 月 13 日(木) コース AA 担当：在学生の履修状況、メンタルケアの対応について各担当先生と状況確認。案件毎に具体的な対応を検討した。

（教授会定例報告で報告された事項のみ記載）

（個人名は削除している）

シラバスチェック

1. 目的

FD 活動の一環として、シラバスの記載内容を確認し、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の 2025 年度全開講科目（講義・レッスン）の全てを対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. シラバスチェック担当者

- ・大学院 FD 委員会委員、FD 委員会委員（授業担当者以外の第三者）

4. 実施の流れ

月日	項目
2/6（木）	担当シラバス配布（2 月教授会にて）
2/6（木）～2/16（木）	シラバスチェック
2/16（木）	チェックシート提出期限（スプレッドシート入力）
～シラバス公開日	シラバス変更期間※授業方針に変更があった場合
～シラバス公開日	科目担当者への修正依頼（事務局→科目担当者）
3/5（水）～3/29（金）	集計・分析
未定	結果報告（2025 年度 FD 委員会）

5. チェック項目（別紙）

6. チェック表の提出（スプレッドシート入力）、朱入りシラバス原稿の提出

- ・提出先：FD 委員会事務局
- ・提出締切日：2025 年 2 月 16 日（木）

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会）は、授業改善のための資料として集計結果を活用するものとします。
- ・チェック内容の結果は、必要に応じて、担当教員に提示します。
- ・チェック内容の赤字項目（重点項目）の結果は、授業担当教員に提示し、「シラバス改善報告書」を提出の上 2025 年度授業開始前までに内容を修正していただきます。

《チェック内容》

項目	点検内容	
到達目標	①	学習の到達目標が具体的に示されているか。
	②	学習の到達目標が現実的なものであるか。
	③	学習の到達目標が測定可能なものであるか。
	④	学生を主体として、わかりやすく書かれているか。
授業時間外の学習(予習・復習)	①	授業時間外学習の内容や方法が示されているか。
	②	授業時間外学習に必要な時間の目安は示されているか。
成績評価の方法 および基準	①	授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。
	②	評価基準は明示されているか。
	③	「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。 授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされる ような記載は認められません。
テキスト・ 参考文献	①	「テキスト・教科書」と「参考文献（参考資料・参考書）」のどちらかは具体的に明示されているか。
授業計画	①	授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。
	②	半期 15 回分（または通年 30 回分）の授業内容 やその相互の関連が示されているか。
	③	「試験」を授業回数に含んでいないか。「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。
評価結果	①	特に改善が必要と思われるもの、また改善にあたってアドバイスがありましたら、備考欄にコメントを記入してください。
	②	指摘事項がなく、内容が充実していて分かりやすいシラバスがありましたら、Good!! を選択してください。シラバスの良い例として、先生方にフィードバックいたします。※チェックシート参照

2025 年度開講科目シラバスチェック 主な指摘事項（集計）

項目	NO	点検内容	主な指摘事項	2023	2024	2025	修正後
到達目標	①	学習の到達目標が具体的に示されているか。	・具体的な記述が必要	22	30	26	
	②	学習の到達目標が現実的なものであるか。	・わかりやすい表現の為に工夫が必要	2	3	0	
	③	学習の到達目標が測定可能なものであるか。		4	35	5	
	④	学生を主体としてわかりやすく書かれているか。					
授業概要	①	初学者にとってわかりやすく、具体的な記述がなされているか	・具体的な記述が必要	0	0	0	
授業時間外の学習	①	授業時間外学習（予習・復習）の内容や方法を示してください		3	17	20	
	②	授業時間外学習に必要な時間の目安を具体的に示してください		321	386	247	
成績評価の方法及び基準	①	授業の到達目標や授業の内容を踏まえ、評価方法及びその割合が示されているか。	・それぞれの評価方法が全体の何%なのかを示す	71	85	29	→0件
	②	評価基準は明示されているか。	・「平常点」と「授業への参加姿勢・授業態度」の違いが不明	60	76	25	
	③	「出席点や出席状況で〇〇%」という記載をしていないか。授業は出席するのが当然なので、出席のみで評価がされるような記載は認められません。	・出席により評価されるような記載は認められない ・「出席点、出席状況」といった出席に関する内容は記載しない	4	15	8	→0件
授業計画	①	授業で取り上げる項目や重要な概念は明示されているか。	・相互の関連性が必要 ・記述内容を明確にすること	9	11	50	
	②	半期15回分（または通年30回分）の授業内容やその相互の関連が示されているか。	・同様のテーマを取り扱う場合であっても、数字のみで区別するのではなく、回数ごとに扱うテーマのキーワードを記載し、各回の学習内容の違いを明確にする（数字での区別・後期での内容省略）	29	37	28	→0件
	③	「試験」を授業回数に含んでいないか。 「試験」だけでは授業とは認められないので、「試験とまとめ」のように授業を行っていることがわかるような記述が必要となります。	・「試験」が回数に含まれている	6	14	5	→0件
テキスト・参考文献	①	「テキスト・教科書」と「参考資料（参考文献）」の両方が「なし」は認められません。（文部科学省からの新規通達、2017年度より）	・テキスト・教科書・参考文献に関しては、いずれかの項目に資料名を記載する	152	320	206	
履修条件			・記述表現への指摘 等				
合計				683	1029	649	

2025 年度開講科目対象シラバスチェック（報告）

【1】今回の結果について

1. シラバスチェックの結果、649 件の指摘があり、前年より 380 件減少した。全体として改善が進んでいるといえる。
2. 重点項目における指摘件数では、「成績評価の方法及び基準」欄において、それぞれの評価方法の割合が示されていないという指摘が大幅に減り 29 件（前年比-56 件）となった。
3. 最も指摘が多かった項目は、「授業時間外の学習」欄であり、具体的な予習復習の時間が提示されていないケースであった。この指摘は、前年度より 100 件以上減少したものの、247 件が指摘されている。
4. 重点項目における指摘については、科目担当教員にポータル掲示にてフィードバックを行い、「シラバス改善報告書」の提出を依頼した。期日までに提出のあった教員は少なく、未提出の教員 32 人には、F D 事務局から直接連絡をし、チェック者のアドバイスや修正案を提示し、対話しながら修正を行った。

【2】今後の課題等について

1. 2023 年 3 月 31 日付、大学基準協会からの『大学評価（認証評価）結果』において、シラバスの「授業計画」の記載内容に精粗が見られ、一部に極めて簡略化された記載があることについて指摘があった。これを受け、内部質保証推進委員会より、本委員会に対して見直しを行うよう指示が出された。各回の学習内容の違いを明確にし、学生の学修に役立つシラバスになるようさらなる充実を図りたい。
2. 指摘事項一覧の共有による改善依頼だけでは、形式的な修正に留まり、特に「授業計画」では、「基礎」「応用」といったキーワードだけを追記して、指摘を回避されようとする例が散見される。これに対応するため、昨年に引き続き、シラバス相談窓口を一時的に設置し、個別に指摘内容を説明するとともに、具体的な修正案の提示を行った。その際、今回のシラバスチェック時に選出いただいた『G o o d !!シラバス 30 選』を参考資料として提示した。その結果、授業計画では具体的に分かりやすく追記くださる先生が大半となり、『G o o d !!シラバス 30 選』が一定の効果を発揮したと考えられる。
3. 今後も授業計画においては、「キーワード（応用、基礎など）」での区別にとどまらず、良い例を積極的に共有し、シラバス執筆者が高度な視点での改善に取り組めるよう働きかける必要がある。

授業に関するアンケート

1. 目的

FD 活動の一環として、学生からの授業に対する意見・感想を聞き、今後の本学の授業内容及び方法の改善に役立てることを目的として実施します。

2. 対象科目

- ・学部・大学院の全開講科目（講義・レッスン）を対象とします。
- ・兼任講師が担当する授業科目も対象とします。

3. 実施の流れ

前期科目	後期科目・通年科目	項目
2024/7/1（月） ～7/30（火）	2024/12/1（日） ～2025/2/17（月）	アンケートの実施 （SENZOKU ポータル）
2024/8/10（土） ～2025/3/31（月）	2025/3/3（月） ～7/31（木）	実施結果の閲覧 （SENZOKU ポータル）
2024 年 10 月	2025 年 6 月	大学ホームページへの掲載

4. アンケートの質問内容（別紙）

5. 集計

- ・以下の 2 種類の集計を実施します。

種類	内容
担当科目集計	各担当科目別の個々の教員データの集計
科目分類集計	講義、レッスン、必修科目、専門選択科目（各コース）、専門選択科目（共通）、一般総合科目、オンデマンド科目の 7 分類による集計

6. 結果の提示及び公表

- ・担当科目集計及びアンケート結果は、SENZOKU ポータルを通じて、担当教員及び受講者に提示します。
- ・講義、レッスンの集計結果については、大学のホームページで公表します。

7. フィードバック

- ・各教員及び教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、カリキュラム委員会等）は、授業改善のための資料としてアンケート結果を活用するものとします。

No	設問文（講義）
1	この授業に何回出席しましたか。
2	この授業のために 1 週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。
4	シラバス（主題と目標、授業計画）に沿って授業が行われましたか。
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか。
7	板書や視聴覚教材の利用、資料の提示方法は適切でしたか。
8	授業に集中できるよう配慮をしていましたか。（私語の防止、遅刻への対応）
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか。
10	この授業を受講して有意義でしたか。
11	この授業の開始・終了時刻は守られていましたか。
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか。
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか。
14	この授業を総合的に評価して満足していますか。
15	この授業でよかった点を入力してください。（自由記述）
16	この授業で改善してほしい点を入力してください。（自由記述）
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください。 ・スマートフォン ・タブレット ・パソコン ・その他
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか。
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか

No	設問文（レッスン）
1	このレッスンに何回出席しましたか。
2	このレッスンのために 1 週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか。
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか。
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか。
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか。
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか。
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか。
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか。
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか。
12	このレッスンでよかった点を入力してください。（自由記述）
13	このレッスンで改善してほしい点を入力してください。（自由記述）

卒業・修了時満足度調査

1. 目的

FD 活動の一環として、卒業予定者を対象に学修成果を確認し、且つ、大学の提供した教育及び学生生活支援に対する総合的な意見・感想を聴取することにより、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実に役立てることを目的として実施します。

2. 対象

- ・正規生の学部 4 年生、大学院 2 年生を対象とします。
- ・非正規生の科目等履修生・聴講生は対象外とします。

3. 実施の流れ

前期	項目
1/12（月）～3/17（月）	アンケートの実施（SENZOKU ポータル）
7 月中旬	本学ホームページで集計結果を発表

4. アンケートの質問内容（別紙）

5. 集計

- ・以下の集計を実施します。

種類	内容
全体集計	アンケート全体の集計

6. 結果の提示

- ・集計結果は、デジタルサイネージを通じて、在学生に提示します。

7. フィードバック

- ・教員組織（大学院 FD 委員会、FD 委員会、IR 委員会、教務委員会等）は、教育改善のための資料として調査結果を活用するものとします。

《質問内容・学部》

No	設問文
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての確な情報を得ることができた。
3	それぞれの授業科目が何を目指したものか、到達目標が明確だった。
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。
7	AP・AA の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。
8	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。
9	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。
10	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。
11	（専門性、専門実技）自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができるようになった。
12	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができるようになった。
13	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができるようになった。
14	（社会貢献・実践的態度）自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度が身に付いた。
15	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができるようになった。
16	洗足学園音楽大学を卒業して良かった。
17	自らが所属したコースで学んだ意義があった。
18	洗足学園音楽大学を卒業したことを誇らしく思っている。
19	洗足学園音楽大学に愛着を持っている。
20	こんな内容の授業があったら良かったと思う科目を教えてください。
21	その理由を教えてください。
22	洗足学園音楽大学に対する総合的な満足度（10 点法）
23	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）

《質問内容・大学院》

No	設問文
1	教員や授業内容について、全般的にどの程度満足していましたか。
2	シラバスからは、各授業科目の到達目標、学習内容、成績評価方法などについての確な情報を得ることができた。
3	それぞれの授業科目が何を目指したものか、到達目標が明確だった。
4	授業では、学生の学習意欲を高める工夫がなされていた。
5	単位認定や成績評価は明確な基準・方法に基づいて適切に行われていた。
6	授業のレベルは全体的にみてどうでしたか。
7	職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。
8	事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。
9	学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。
10	（専門性、専門実技）自らの専門分野の高度で専門的な知識・技能あるいは研究能力を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。
11	（多様性の尊重）社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。
12	（協働する力）自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。
13	（社会貢献・国際貢献・実践的態度）国際社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。
14	（論理的思考力・問題解決力）論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。
15	（プロフェッショナル）社会における自らの専門分野の意義と役割を理解し、専門家として主体的で創造的な研究活動を継続することができる。
16	洗足学園音楽大学大学院を修了して良かった。
17	自らが所属した専攻・コースで学んだ意義があった。
18	洗足学園音楽大学大学院を修了できることを誇らしく思っている。
19	洗足学園音楽大学大学院に愛着を持っている。
20	洗足学園音楽大学大学院に対する総合的な満足度（10点法）
21	本学に対して、ご意見・ご要望・その他ご感想等があれば、自由に入力してください。（教員・職員、授業、施設・設備、演奏会、学内イベント、就職活動等）

FD 委員会規程

（目的）

第 1 条 この規程は、洗足学園音楽大学教授会規程第 9 条第 1 項の規定に基づき、F D 委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

（組織）

第 2 条 F D 委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- （１）学部長
- （２）学長の指名した教職員

（会議）

第 3 条 F D 委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、F D 委員会を招集し、その議長となる。
- 3 F D 委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、F D 委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

（会議成立の要件）

第 4 条 F D 委員会は、当該構成員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立する。

（審議事項等）

第 5 条 F D 委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- （１）F D 活動の企画立案
- （２）F D 活動の実施計画の立案
- （３）F D 活動の評価
- （４）F D 活動に関する情報の収集と提供
- （５）その他学長の諮問する事項

- 2 F D 委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

（議決）

第 6 条 F D 委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

（議事録）

第 7 条 F D 委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

（事務の所管）

第 8 条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

（規程の改廃）

第 9 条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

大学院 FD 委員会規程

（目的）

第 1 条 この規程は、洗足学園音楽大学大学院教授会規程第 9 条第 1 項の規定に基づき、大学院 FD 委員会の組織及び運営の方法その他必要な事項について定める。

（組織）

第 2 条 大学院 FD 委員会は、次の各号にかかげる者をもって組織する。

- （１）研究科長
- （２）学長の指名した教職員

（会議）

第 3 条 大学院 FD 委員会に委員長を置き、学長の指名した者がこれに当たる。

- 2 委員長は、大学院 FD 委員会を招集し、その議長となる。
- 3 大学院 FD 委員会に副委員長を置くことができる。
- 4 副委員長は、学長の指名した者とし、委員長を補佐する。
- 5 議長は必要があると認めるときは、大学院 FD 委員会の同意を得て前条に定める構成員以外の教職員を出席させることができる。

（会議成立の要件）

第 4 条 大学院 FD 委員会は、当該構成員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立する。

（審議事項等）

第 5 条 大学院 FD 委員会は、教授会の委任に基づき次の各号にかかげる事項を審議する。

- （１）FD 活動の企画立案
- （２）FD 活動の実施計画の立案
- （３）FD 活動の評価
- （４）FD 活動に関する情報の収集と提供
- （５）その他学長の諮問する事項

- 2 大学院 FD 委員会の構成員は、審議に関して同等の権利及び義務をもつ。

（議決）

第 6 条 大学院 FD 委員会は、出席者の過半数をもって決定する。

- 2 賛否同数のときは、議長の決するところによる。

（議事録）

第 7 条 大学院 FD 委員会の議事進行の過程及び決定事項は、議事録に記録する。

（事務の所管）

第 8 条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

（規程の改廃）

第 9 条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

資料 1 : FD 研修会 (チラシ)



日時・会場

2025 年 2 月 14 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 30 【 L101 室 】

教員養成カリキュラム・FD 委員会共催

FD 研修会のお知らせ ~教職 FD との共同開催にあたって~

FD 委員会では、全学的な授業改善を図ることを目的に各授業の工夫を広く共有するための研修会を毎年企画しております。今年度は教員をめざす学生たちの必修科目「教職ピアノ実習」を取り上げ、**“はじめて”の学生へのアプローチ方法や集団授業における個別指導のバランス**を主なテーマに講演いただく予定です（詳細は以下）。全ての授業に有効な内容となりますので、ぜひ多くの先生方にご参加いただきたく、教員養成カリキュラム委員会と共同し開催することとなりました。先生方の積極的なご参加をお待ちしております。

講演 1

**“はじめて”の学生への
アプローチで大切に
してきたこと**

教職ピアノ実習 1 今年度より設置
された初心者クラスにおける実践報告

講師：末石 忠史先生

講演 2

**時間を変えた模擬授業
の実践**

教職実習を想定した『教職ピアノ
4』授業について

講師：津布楽 杏里先生

グループディスカッションでは、個別指導のバランスについて各授業の様子を情報交換する予定です。

講師プロフィール

当日ご講演いただく先生方の略歴です。



講演 1

すえいしただふみ

講師：末石 忠史 先生

- ・国立音楽大学(音楽教育科リトミック専修)・同大学院(音楽教育学)卒業。
- ・東京都立養護学校(現特別支援学校)教諭(6年)
- ・東京都立高等学校定時制(昼夜間定時制)教諭、主任教諭・主幹教諭(11年)
- ・東京都立高等学校全日制(中高一貫校・普通科)主幹教諭(5年)



講演 2

つぶらくあんり

講師：津 布 楽 杏里 先生

長野県立須坂高校を卒業後、埼玉大学教育学部音楽科を経て、同大学大学院修了。ピアノ及び伴奏法を海谷 泉、村山順吉、蛭多令子、大場俊一、小林道夫の各氏に師事。小学校教員(担任・音楽科)を経て現職。第45回全東北ピアノコンクール入選。第3回日本演奏家コンクール、ファイナリスト。第11回TIAA 全日本作曲家コンクール入選。第6回東京国際歌曲作曲コンクール入選。第23回JILA 音楽コンクール【作曲部門】第3位入賞。



▶ 対面開催のみです。オンデマンド配信の予定はありません。



▶ 参加方法：[参加申込みフォーム](#) に入力し送信

申し込み期限：2月7日(金)

当日資料準備のため事前の参加申し込み手続きが必要となりますが、当日参加も可能です。
専門や分野に関わらず、多くの先生方のご参加をお待ちしております。



この件に関するお問い合わせ先

FD 委員会事務局または教職センター
eキューブ2F 教学センター内



メール アドレス:

daigaku_fd@senzoku.ac.jp

資料 2 : 授業に関するアンケート結果

2024 年度 授業に関するアンケート 区分別集計結果表

学部－講義

学部－レッスン

大学院－レッスン

大学院－講義

洗足学園音楽大学・大学院

2024年度（遠隔授業含む）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

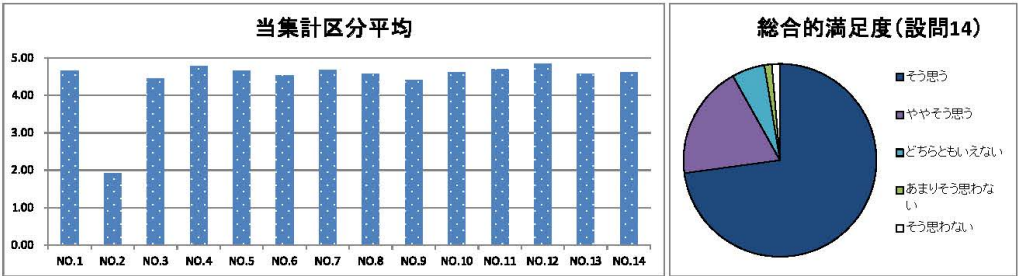
集計区分	学部-講義全体
------	---------

履修者数	31453
回答数	9239
回答率	29.37%

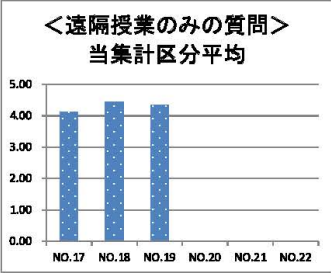
あなた自身について									
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.62	半期15-13回 通年30-28回	半期12-10回 通年25-20回	半期9-7回 通年18-14回	半期6-4回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下	9166	73
			67,30%	28,73%	2,83%	0,62%	0,52%		
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	1.94	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	9137	102
			8,06%	3,63%	11,01%	28,71%	48,59%		
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.52	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	9123	116
			64,34%	26,24%	6,81%	1,80%	0,81%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.75	82.04%	13.03%	3.47%	0.89%	0.57%	9105	134
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.76	82.75%	12.66%	3.02%	0.86%	0.71%	9102	137
6	教員の声や話し方は明確でわかりやすかったですか	4.70	80.45%	12.68%	4.20%	1.69%	0.98%	9102	137
7	板書や視覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.69	78.96%	13.72%	5.15%	1.27%	0.90%	9070	169
8	授業に集中できるように配慮をされていますか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.64	76.79%	14.31%	6.40%	1.55%	0.94%	9075	164
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.61	76.20%	13.64%	6.85%	2.02%	1.28%	9075	164
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.67	78.03%	14.93%	4.20%	1.57%	1.26%	9100	139
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.79	84.86%	10.86%	2.89%	0.84%	0.55%	9071	168
12	休憩は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.84	88.83%	8.08%	2.02%	0.57%	0.48%	9080	159
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.66	78.34%	13.94%	4.63%	1.88%	1.21%	9084	155

授業の評価									
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.68	78.90%	14.15%	4.12%	1.53%	1.30%	9076	163



授業科目について:遠隔授業のみの設問									
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			そう思う スマホ	ややそう思う タブレット	どちらとも パソコン	あまりそう その他	そう思わない		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	4.09	52.62%	12.53%	25.75%	9.10%	0.00%	6232	3007
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.22	37.12%	53.40%	3.52%	5.95%	0.00%	1646	7593
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.19	34.26%	55.67%	4.43%	5.64%	0.00%	1649	7590



2024年度 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

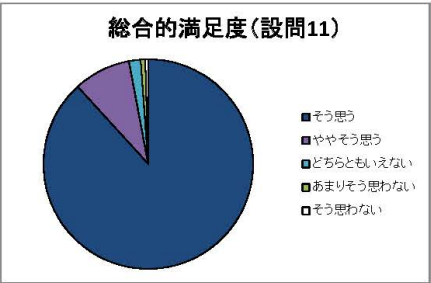
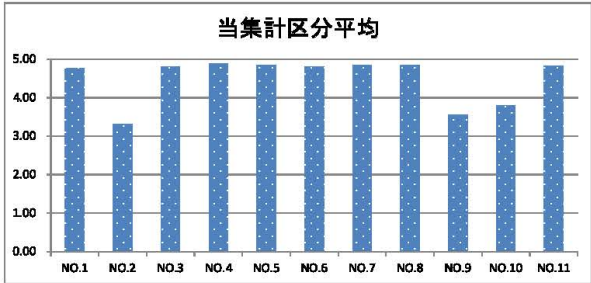
集計区分 学部-レッスン全体

履修者数	6317
回答数	1563
回答率	24.74%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			半期15-19回 通年30-39回	半期12-14回 通年25-29回	半期9-11回 通年18-24回	半期6-8回 通年13-17回	半期3回以下 通年9回以下		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.76	80.08%	16.77%	2.31%	0.58%	0.26%	1556	7
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.31	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	1555	8
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.81	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	1552	11
			84.15%	13.66%	1.74%	0.32%	0.13%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたが	4.89	91.35%	6.65%	1.48%	0.39%	0.13%	1549	14
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.84	88.63%	8.27%	2.07%	0.65%	0.30%	1548	15
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.80	84.43%	12.53%	2.07%	0.65%	0.32%	1548	15
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.86	88.96%	8.78%	1.16%	1.03%	0.08%	1549	14
8	休講は少なく、通常通りレッスンは実施されましたか	4.85	88.36%	9.31%	1.29%	0.78%	0.26%	1546	17
9	他の教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	3.55	39.34%	14.52%	20.80%	12.90%	12.44%	1543	20
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.79	49.35%	13.28%	16.06%	10.10%	11.20%	1544	19

授業の評価									
NO	設問文	平均点	回答率					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
			そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.84	88.25%	8.77%	1.82%	0.71%	0.45%	1540	23



2024年度（遠隔授業用）授業に関するアンケート 講義用 集計結果

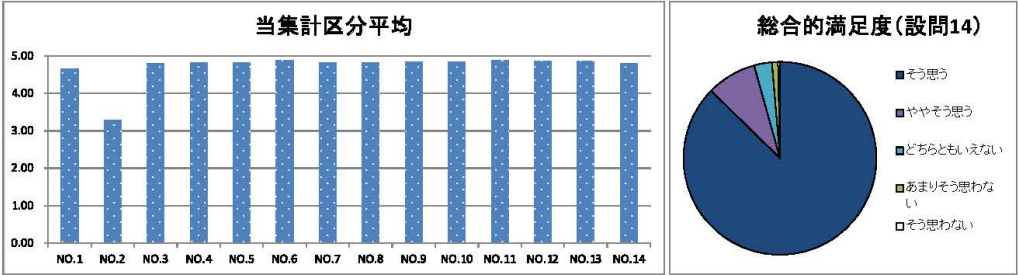
集計区分 **大学院-講義**

履修者数	912
回答数	300
回答率	32.89%

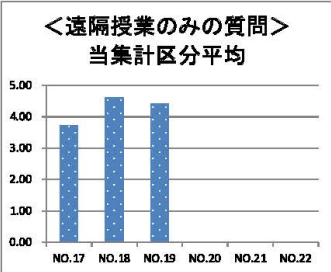
あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	この授業に何回出席しましたか。	4.66	前期16-13回 通年30-28回 78.00%	前期12-10回 通年25-20回 16.00%	前期9-7回 通年18-14回 2.00%	前期6-4回 通年13-8回 1.67%	前期3回以下 通年7回以下 2.33%	300	0
2	この授業のために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	3.30	4時間以上 30.33%	3-4時間 19.33%	2-3時間 15.33%	1-2時間 19.67%	1時間未満 15.33%	300	0
3	熱意をもってこの授業に臨みましたか。	4.81	そう思う 85.28%	ややそう思う 10.70%	どちらとも いえない 3.88%	あまりそう 思わない 0.33%	そう思わない 0.00%	299	1

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	シラバス(主題と目標、授業計画)に沿って授業が行われましたか	4.83	87.33%	9.00%	2.67%	1.00%	0.00%	300	0
5	授業に対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.83	89.00%	7.00%	2.33%	1.67%	0.00%	300	0
6	教員の声や話し方は明瞭でわかりやすかったですか	4.88	91.67%	5.33%	2.00%	1.00%	0.00%	300	0
7	振書や視聴覚教材、資料の提示方法は適切でしたか	4.83	88.00%	7.67%	4.00%	0.33%	0.00%	300	0
8	授業に集中できるよう配慮をされていましたか (私語の防止、遅刻などへの対応)	4.82	88.67%	6.67%	3.00%	1.33%	0.33%	300	0
9	学生から質問や発言する時間が与えられていましたか	4.85	89.97%	6.35%	2.34%	1.00%	0.33%	299	1
10	この授業を受講して有意義でしたか	4.84	88.63%	7.69%	2.68%	1.00%	0.00%	299	1
11	授業の開始・終了時刻は守られていましたか	4.88	92.33%	4.33%	2.67%	0.67%	0.00%	300	0
12	休講は少なく、通常通り授業は実施されましたか	4.87	91.33%	6.00%	1.33%	1.33%	0.00%	300	0
13	この授業は全体としてわかりやすかったですか	4.86	90.30%	6.02%	3.01%	0.67%	0.00%	299	1

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
14	この授業を総合的に評価して満足していますか	4.81	87.33%	8.33%	3.00%	1.00%	0.33%	300	0



授業科目について:遠隔授業のみの設問		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
17	遠隔授業を受講する際、主に使用している端末を教えてください	3.73	32.30%	15.18%	45.91%	6.61%	0.00%	257	43
18	遠隔授業での課題提出の指示はわかりやすかったですか	4.63	65.79%	31.58%	2.83%	0.00%	0.00%	38	262
19	遠隔授業での課題の量は適切でしたか	4.41	58.82%	29.41%	5.88%	5.88%	0.00%	34	266



2024年度 授業に関するアンケート レッスン用 全体集計結果

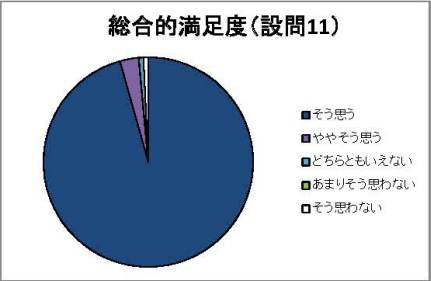
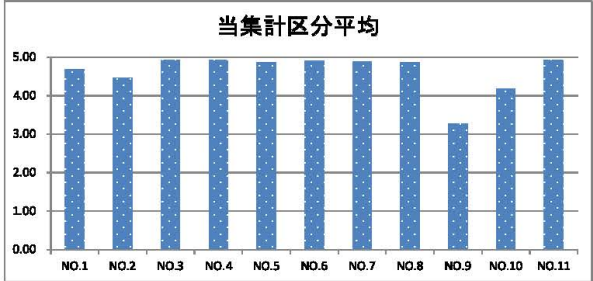
集計区分 大学院-レッスン全体

履修者数	408
回答数	137
回答率	33.58%

あなた自身について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
1	このレッスンに何回出席しましたか。	4.69	半期15-19回 通年30-39回	半期12-14回 通年25-29回	半期9-11回 通年18-14回	半期6-8回 通年13-8回	半期3回以下 通年7回以下	137	0
2	このレッスンのために一週間で平均どのくらい予習・復習しましたか。	4.46	4時間以上	3-4時間	2-3時間	1-2時間	1時間未満	137	0
3	熱意をもってこのレッスンに臨みましたか。	4.93	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	136	1
			95.59%	2.21%	2.21%	0.00%	0.00%		

授業科目について		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
4	レッスンに対する教員の意欲や熱意を感じましたか	4.94	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	137	0
5	教員とのコミュニケーションは上手くとれていましたか	4.88	95.62%	2.92%	1.46%	0.00%	0.00%	137	0
6	レッスンを通じて、演奏技術は上達しましたか	4.88	92.70%	4.36%	1.46%	0.73%	0.73%	137	0
7	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.91	94.89%	2.19%	2.19%	0.73%	0.00%	137	0
8	レッスンの開始・終了時刻は守られていましたか	4.88	91.24%	5.84%	2.92%	0.00%	0.00%	137	0
9	他教員のレッスンを受けてみたいと思いますか	4.88	89.78%	8.03%	2.19%	0.00%	0.00%	137	0
10	他の人が自分のレッスンを見学してもかまいませんか	3.27	37.23%	6.57%	22.63%	13.14%	20.44%	137	0
		4.19	82.04%	13.87%	10.95%	7.30%	5.84%	137	0

授業の評価		平均点	回答率					有効回答	無効回答
NO	設問文		5	4	3	2	1		
11	このレッスンを総合的に評価して満足していますか	4.93	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	137	0
			95.62%	2.92%	0.73%	0.00%	0.73%		



資料 3 : 卒業時満足度調査結果

2024年度 卒業時満足度調査

洗足学園音楽大学

1

調査概要

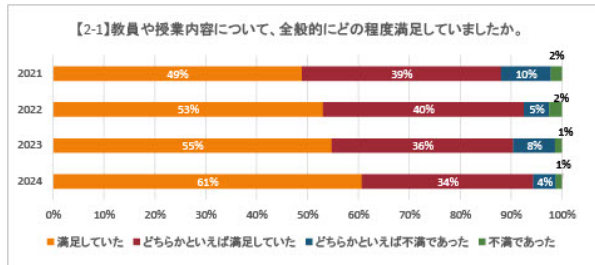
調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2025年3月卒業予定の音楽学部4年生（全コース）
調査時期	2025年1月30日（木）～3月19日（水）
所要時間	10分弱
質問数	28問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

2

回答率		在籍者数	回答者数	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
作曲	CO	7	3	43%	100%	20%	67%	100%
音楽・音響デザイン	SC	91	44	48%	55%	59%	32%	37%
ピアノ	PF	28	10	36%	56%	50%	48%	20%
管楽器	WI	104	46	44%	35%	57%	32%	29%
弦楽器	SI	13	8	62%	50%	60%	62%	29%
打楽器	PI	25	7	28%	53%	55%	40%	44%
電子オルガン	EO	6	5	83%	58%	67%	50%	67%
ジャズ	JA	33	15	45%	53%	65%	38%	59%
現代邦楽	GH	0	0	—	0%	0%	0%	—
ロック&ポップス	RP	48	17	35%	31%	43%	39%	41%
声楽	VO	18	12	67%	71%	35%	24%	47%
ミュージカル	MS	79	32	41%	42%	46%	23%	54%
バレエ	BL	15	4	27%	30%	87%	37%	41%
ダンス	DC	20	8	40%	40%	75%	22%	—
声優アニメソング	AS	31	13	42%	49%	63%	27%	37%
音楽教育	ME	13	3	23%	50%	50%	44%	43%
ワールドミュージック	WM	3	1	33%	50%	50%	—	—
音楽環境創造	SS	46	21	46%	44%	—	—	—
合計		580	249	43%	45%	58%	36%	39%

3

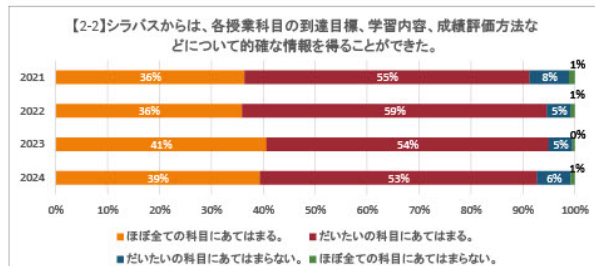
① 教員や授業についての満足度



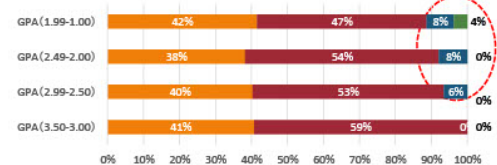
・【2-1】教員や授業内容に対して「満足していた」と回答した学生は年々増えており、2021年度に比べて10pt以上高い(61%)。

・【2-2】【2-3】シラバスの内容の理解度は4割程度を維持。GPA別が低くなるほど「あてはまらない※1」と回答した学生が目立つ。

※1「だいたい科目にあてはまらない」「ほぼすべての科目に当てはまらない」の合計

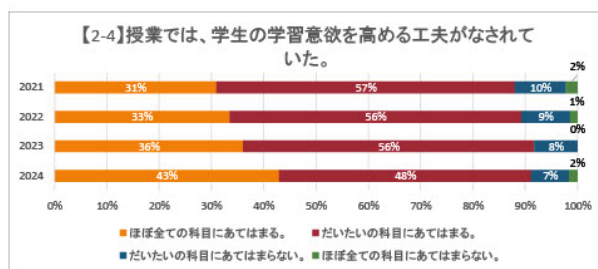
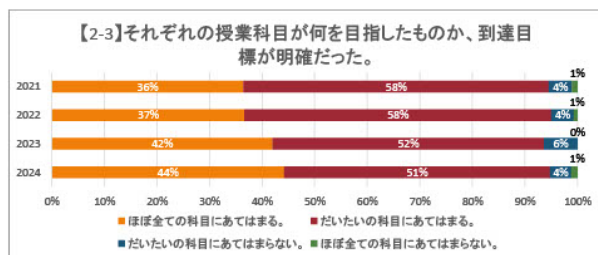


参考：【2-2】2024年度GPA別



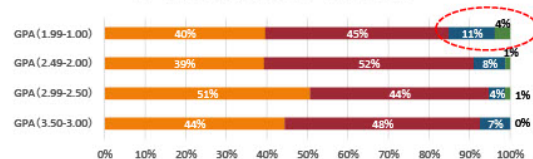
4

① 教員や授業についての満足度(つづき)

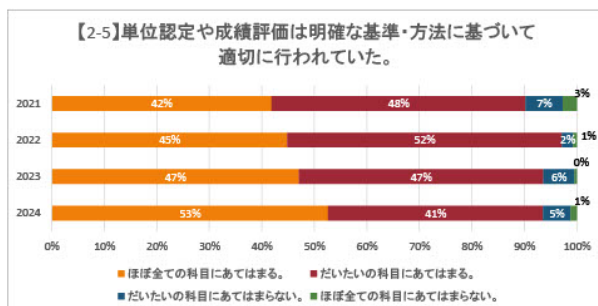


・【2-4】ほぼ全ての科目において、学生の学習意欲を高める工夫がなされていたと回答する割合が伸びている。また、GPA別にみると、2.0未満の学生に「あてはまらない※1」と回答した学生が多い(15%)。

参考：【2-4】2024年度GPA別

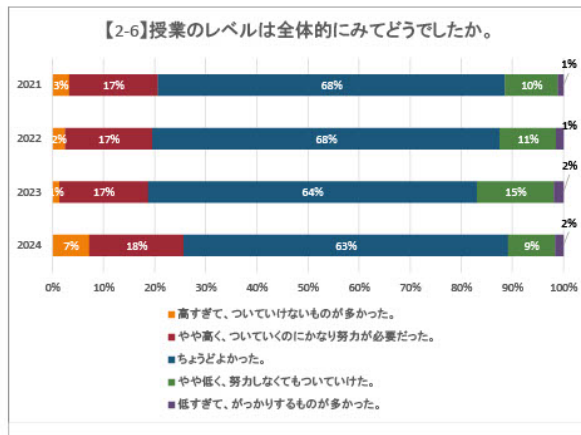


① 教員や授業についての満足度(つづき)

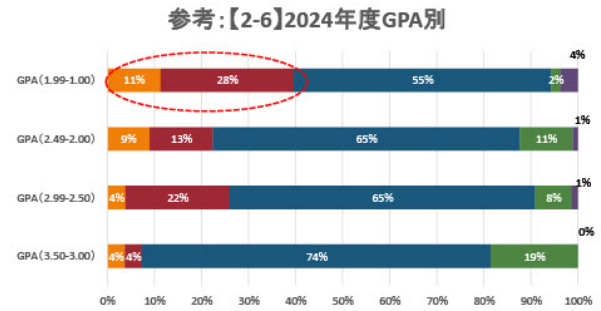


・【2-5】単位認定や成績評価については9割以上の学生が納得しており、その中でも「ほぼ全ての科目にあてはまる」と回答する割合が高くなっている。2024年度においては昨年より6pt伸びた(53%)。

① 教員や授業についての満足度(つづき)

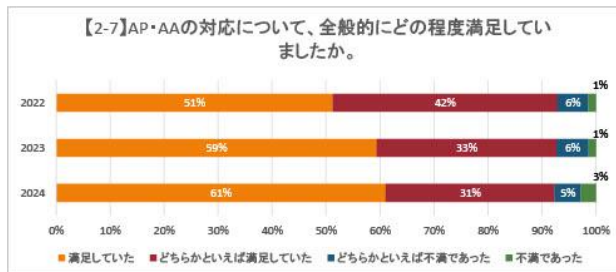


・【2-6】「やや低い、努力しなくてもついていった」と回答する割合が減り、「高すぎて、ついていけないものが多かった」と回答する学生が増えた(+6pt)。GPA別にみると、2.0未満の学生の4割が「やや高い、高すぎる」と回答している。



7

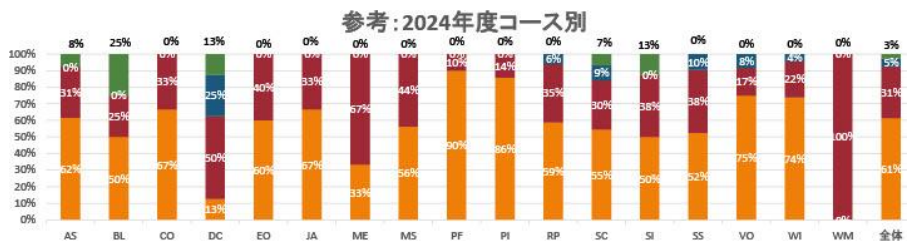
① 教員や授業についての満足度(つづき)



・【2-7】満足している学生※2は、全体の92%と多く、「満足していた」と回答する割合も増加傾向にある。

※2「満足していた」「どちらかといえば満足していた」の合計

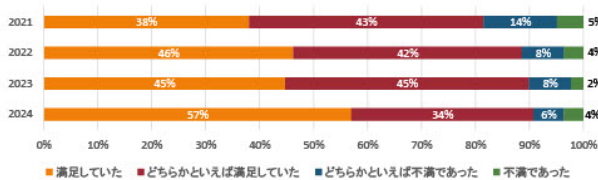
・コース別にみると、バレエ、ダンス、音楽・音響デザイン、弦楽器、音楽環境創造では、不満に感じている学生の割合が、平均(8%)より高い。



8

②大学事務局についての満足度

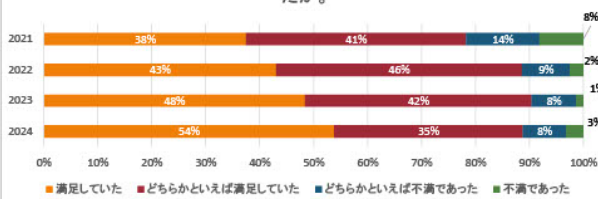
【3-1】職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。



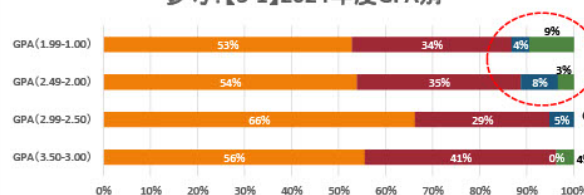
・【3-1】【3-2】職員の対応、事務手続きに関して
はどちらも満足度が上がり、「満足していた」回答
する学生は前年に比べ12ptも増えた(57%)。

・GPA別にみると、GPAの低い学生ほど不満の
割合が高いため、より丁寧な対応が必要になる。

【3-2】事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。

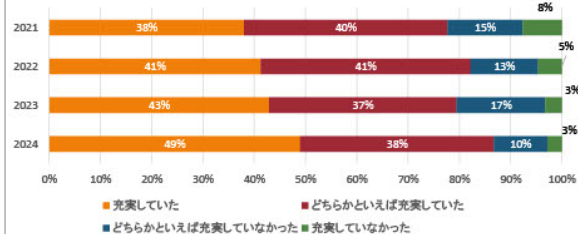


参考：【3-1】2024年度GPA別



③設備・施設についての満足度

【4】学内の教育関連設備・施設は、どの程度充実していましたか。

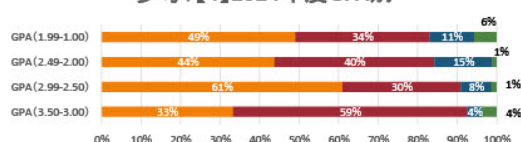


・【4】設備・施設については、「充実していた」と回
答する割合は年々高くなっている。

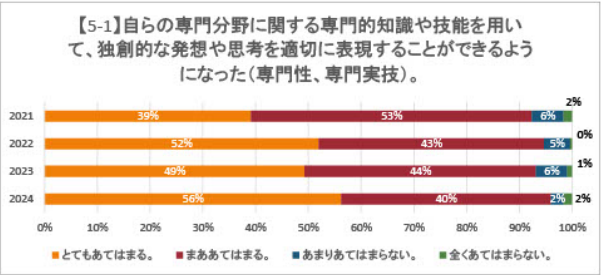
・GPA別にみると、GPAが高くなるほど充実度
※1が増しているものの、3.0以上の学生で「充実
していた」と回答する割合が少ない。学びが深ま
るほど、学生が施設に求める水準も高くなるよう
だ。

※1「充実していた」「どちらかといえば充実していた」の合計

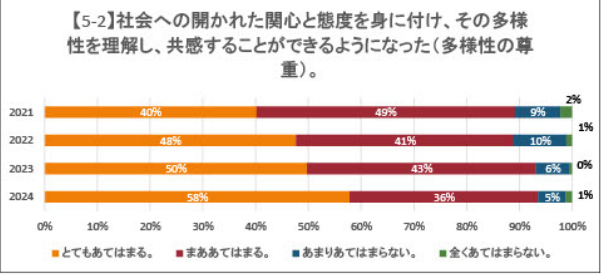
参考：【4】2024年度GPA別



④4年間の学修成果

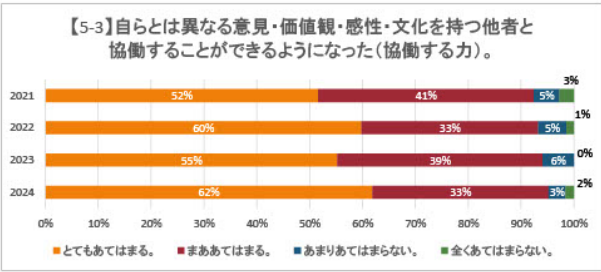


・【5-1】専門性、専門実技について、「とてもあてはまる」と「まああてはまる」を合わせた割合は96%に達した。

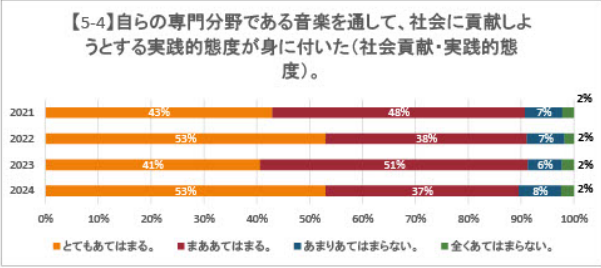


・【5-2】多様性の尊重について、「とてもあてはまる」と回答する割合が増えている。

④4年間の学修成果(つづき)

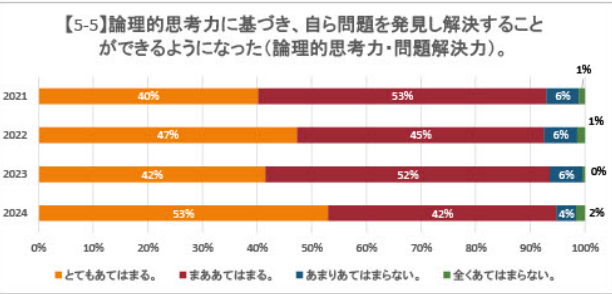


・【5-3】協働する力について、「とてもあてはまる」と回答した割合は、前年より7pt増え、62%となった。これは5項目中最大である。



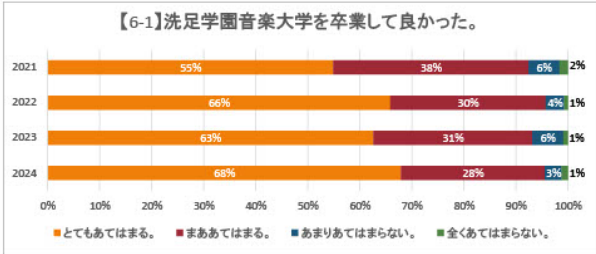
・【5-4】社会貢献、実践的態度については、「とてもあてはまる」と回答した割合が、前年より12pt上がった。

④4年間の学修成果(つづき)



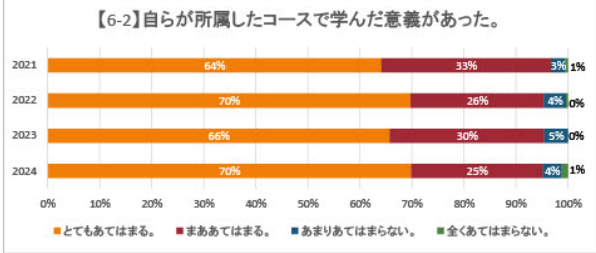
・【5-5】論理的思考力についても、「とてもあてはまる」と回答する学生の割合が、前年より11pt増えた。

⑤大学生活全般

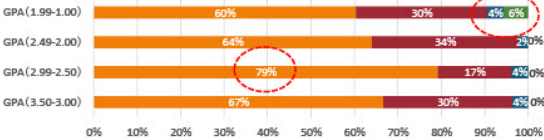


・【6-1】【6-2】どちらも「とてもあてはまる」と回答した学生の割合が過去最高となった。

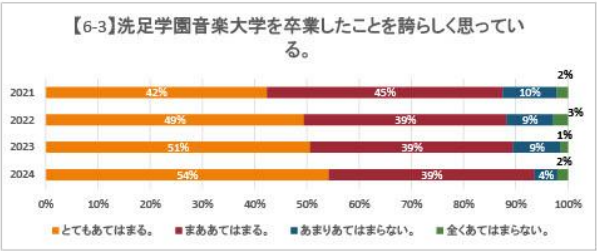
・【6-1】GPA別にみると、2.50～2.99の学生の満足度が最も高く(79%)、1.00～1.99の学生に卒業できてよかったと感じない学生の割合が目立つ(10%)。



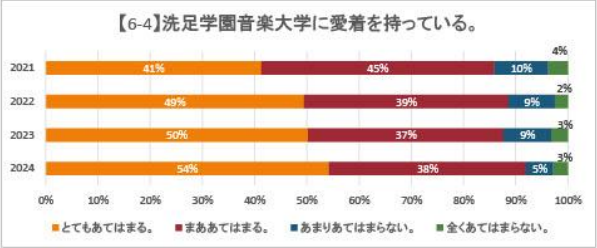
参考：【6-1】2024年度GPA別



⑤大学生活全般(つづき)

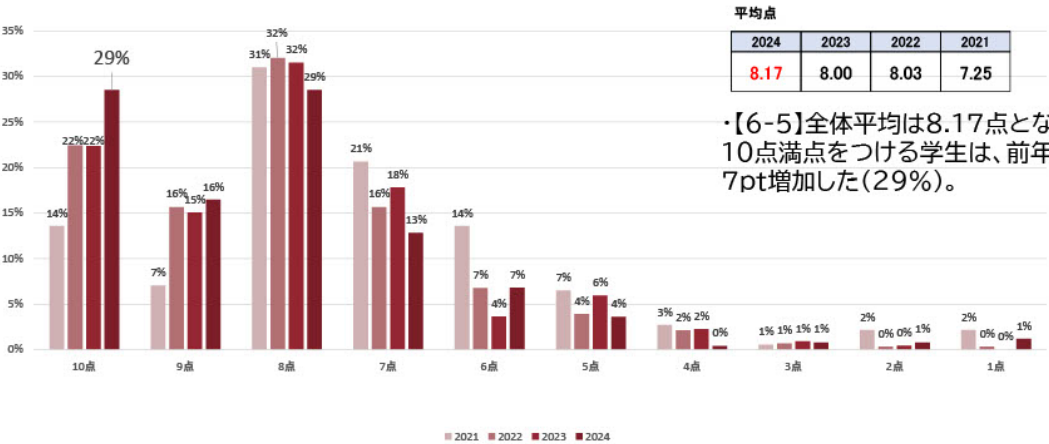


・【6-3】【6-4】どちらも「とてもあてはまる」と回答した学生の割合が増加している。



⑥大学生活全般

【6-7】本学における、あなたの4年間の学生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。

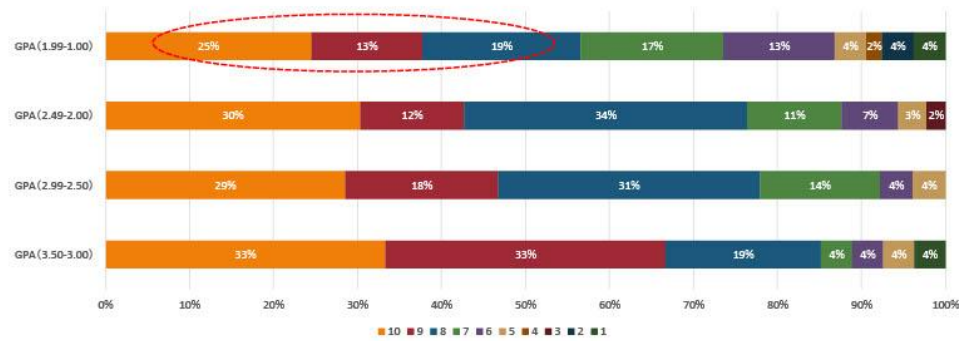


・【6-5】全体平均は8.17点となり、10点満点をつける学生は、前年より7pt増加した(29%)。

⑥大学生活全般(つづき)

・【6-5】GPA別にみると、8点以上をつける割合が、GPAが下がるほど低い。特にGPA2.0未満の学生は半数程度で、GPA2.0以上の学生に比べると19pt低い。一概に言えないが、GPAを2.0以上にできれば、満足度がかなり変わってくるようだ。

参考：【6-5】2024年度GPA別



資料 4 : 修了時満足度調査結果

2024年度 修了時満足度調査

洗足学園音楽大学大学院

1

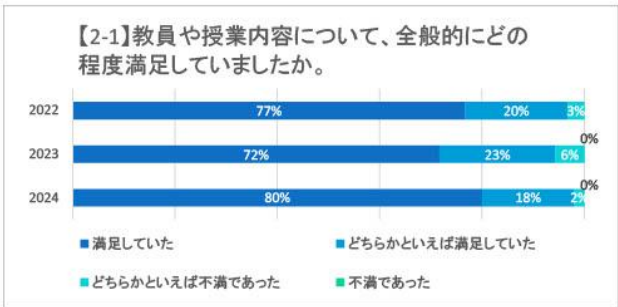
調査概要

調査目的	学生の率直な意見を聞くことにより、学生生活の実態や考えを把握し、今後の本学の教育改善や学生生活の更なる充実につなげる
調査方法	SENZOKUポータル・アンケート機能による
対象	2025年3月修了予定の大学院2年生（全コース）
調査時期	2025年1月31日(金)～3月19日(水)
所要時間	10分弱
質問数	21問
調査項目	教員・授業内容 / 大学事務局 / 設備・施設 / 学生生活を振り返って

2

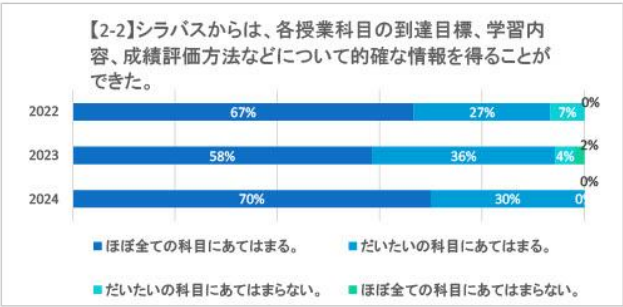
回答率		在籍者数	回答者数	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
作曲	CO	4	3	75%	100%	50%	0%
電子オルガン	EO	11	7	64%	80%	89%	50%
ジャズ&アメリカンミュージック	JA	11	2	18%			
音楽教育学	ME	4	0	0%	75%	71%	100%
ピアノ	PF	15	9	60%	87%	88%	33%
打楽器	PI	7	2	29%	40%	50%	－
音楽・音響デザイン	SC	21	13	62%	45%	75%	48%
弦楽器	SI	3	2	67%	33%	60%	29%
声楽	VO	10	4	40%	50%	38%	50%
和楽器	WA	1	1	100%	0%	0%	0%
管楽器	WI	9	7	78%	25%	43%	71%
合計		96	50	52%	60%	75%	49%

①教員や授業についての満足度



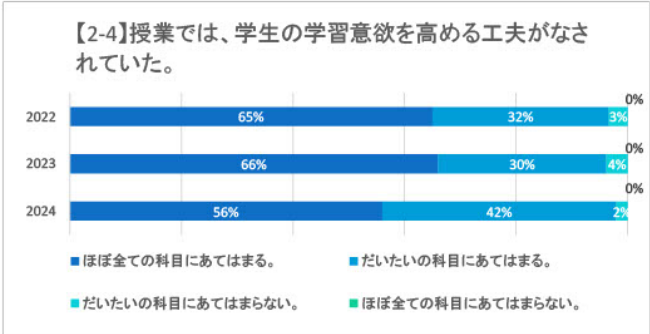
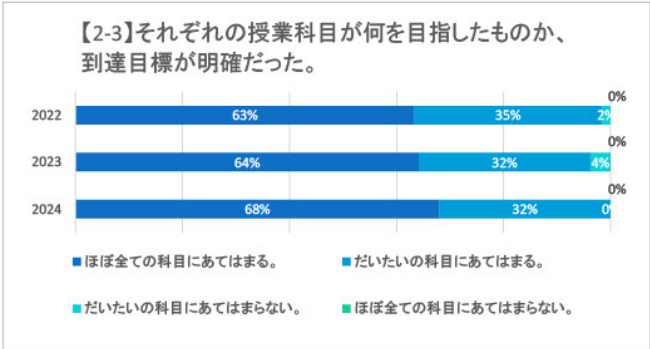
・【2-1】教員や授業内容について98%の学生が満足している※。
「どちらかといえば不満」は回答者中1名のみ。

※「満足していた」「どちらかといえば満足していた」の合計



・【2-2】【2-3】年度によりばらつきはあるものの、ほとんどの学生がシラバスから得られる情報や、授業の到達目標の明確さについて満足している。

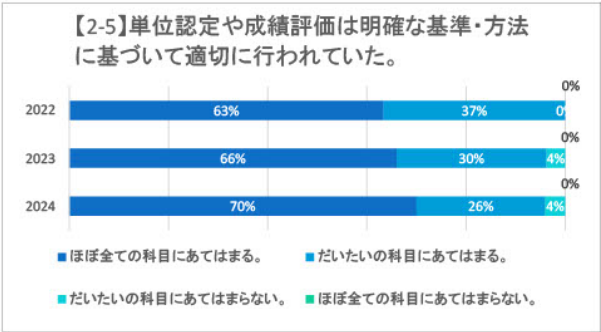
①教員や授業についての満足度(つづき)



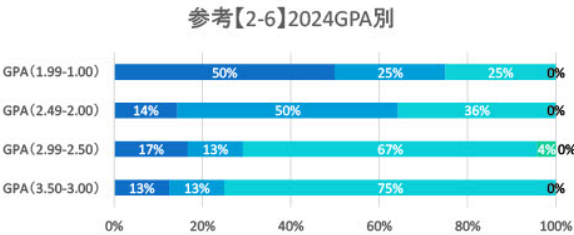
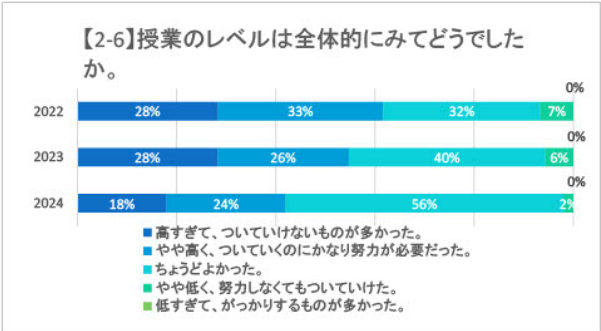
・【2-4】多くの授業科目で学習意欲を高める工夫がなされていた※と回答した学生は98%。
不満であった学生は、回答者中1名のみ。

※「ほぼ全ての科目にあてはまる」「だいたいの科目にあてはまる」の合計

①教員や授業についての満足度(つづき)

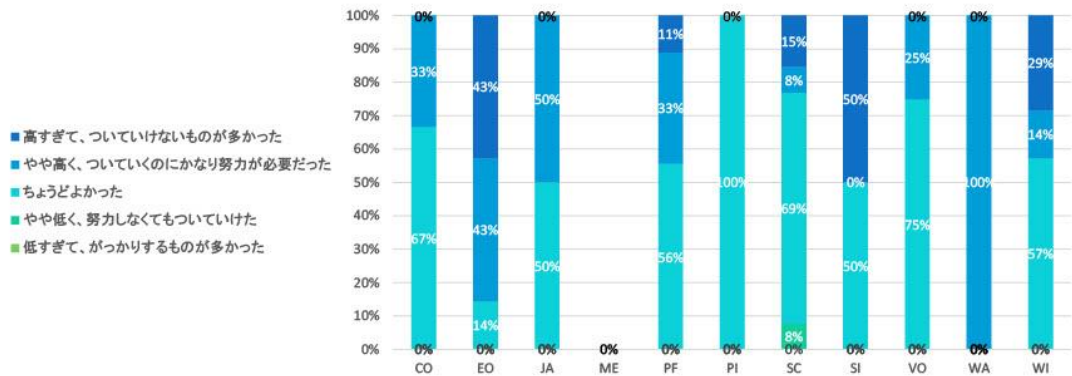


・【2-6】授業のレベルが「ちょうどよかった」と回答した学生が過半数を超えた。
一方で、「高すぎる」あるいは「やや高い」と回答した学生も42%おり、特にGPAが低い学生に顕著であるため、フォローが必要。



①教員や授業についての満足度(つづき)

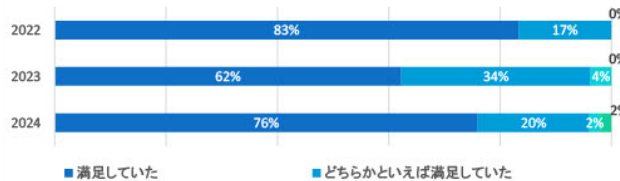
参考【2-6】2024コース別



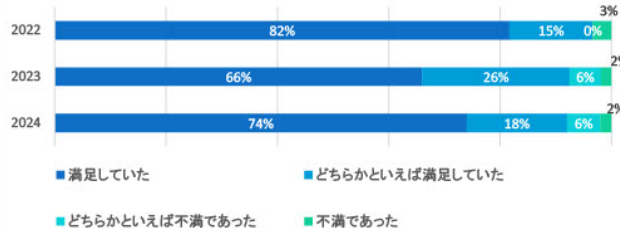
	CO	EO	JA	ME	PF	PI	SC	SI	VO	WA	WI	総計
高すぎて、ついていけないものが多かった	0	3	0	0	1	0	2	1	0	0	2	9
やや高く、ついていくのにかなり努力が必要だった	1	3	1	0	3	0	1	0	1	1	1	12
ちょうどよかった	2	1	1	0	5	2	9	1	3	0	4	28
やや低く、努力しなくてもついていった	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
低すぎて、がっかりするものが多かった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学生数合計	3	7	2	0	9	2	13	2	4	1	7	50

②大学事務局についての満足度

【3-1】職員の対応について、全般的にどの程度満足していましたか。

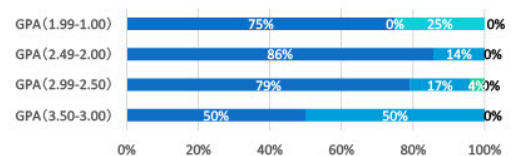


【3-2】事務手続きについて、全般的にどの程度満足していましたか。

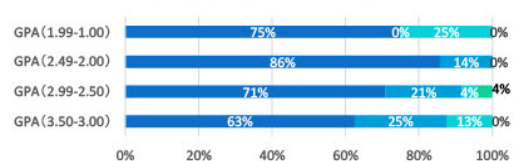


・【3-1】【3-2】職員の対応及び事務手続きについては9割を超える学生が満足しているが、GPAに関係なく不満を持つ学生が存在する。

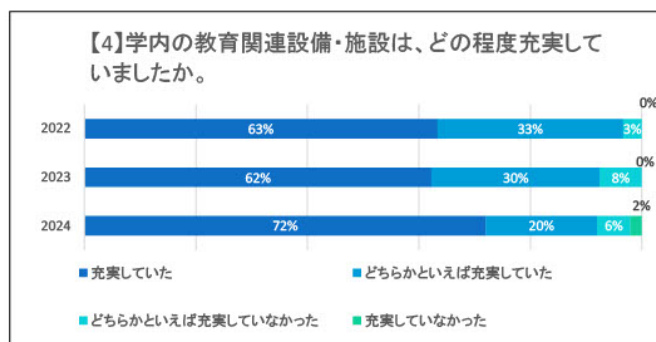
参考【3-1】2024GPA別



参考【3-2】2024GPA別

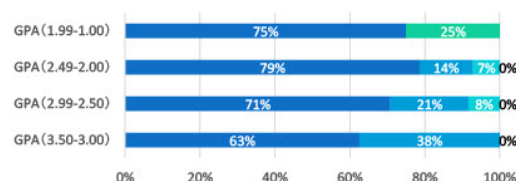


③設備・施設についての満足度

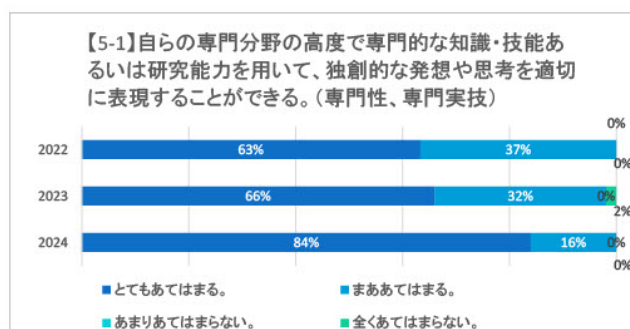


・【4】設備・施設についての満足度は例年並みとなり、9割以上の学生が充実していると回答している。

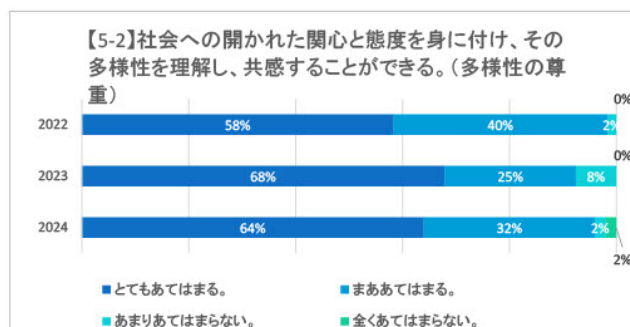
参考【4】2024GPA別



④2年間の学修成果について

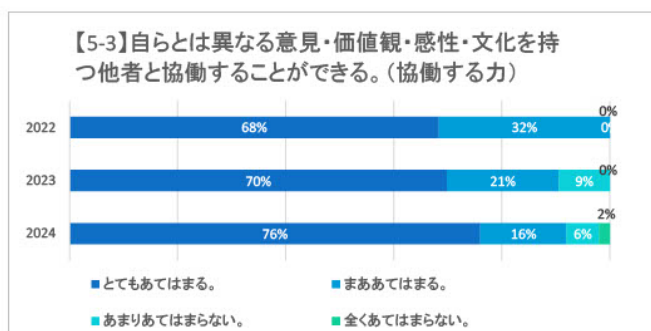


・【5-1】専門性について、「とてもあてはまる」と回答した学生が前年度よりも大幅に増え84%となった。また「まああてはまる」とあわせ100%となり、ディプロマ・ポリシーに掲げる6つの項目の中では最も高い。

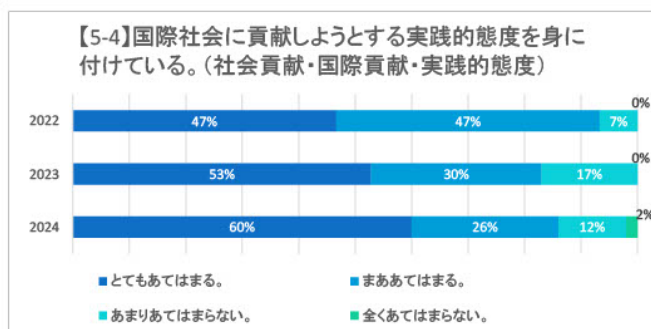


・【5-2】多様性の尊重について、「とてもあてはまる」が前年度からやや減ったが、「まああてはまる」とあわせると96%と、高い満足度を示した。

④2年間の学修成果について(つづき)



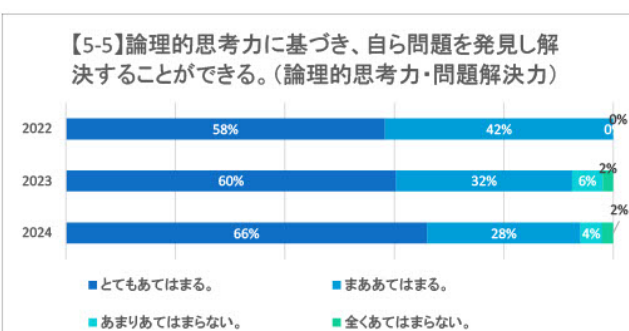
・【5-3】協働する力について、76%の学生が「とてもあてはまる」と回答しており、年々高まる傾向となっている。



・【5-4】社会貢献、国際貢献、実践的態度については、「とてもあてはまる」と回答する学生の割合が増えているが、あてはまらない※と回答する学生の割合が比較的高い。

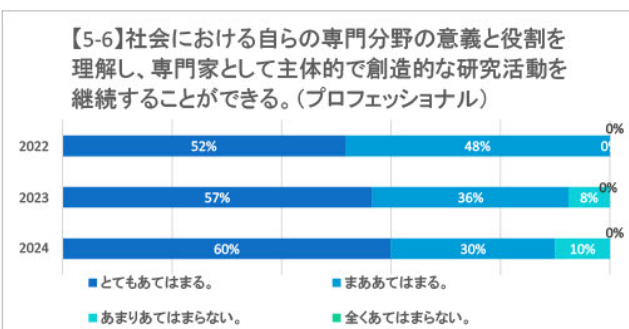
※「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計

④2年間の学修成果について(つづき)



・【5-5】論理的思考力・問題解決力について、94%の学生があてはまる※と回答している。

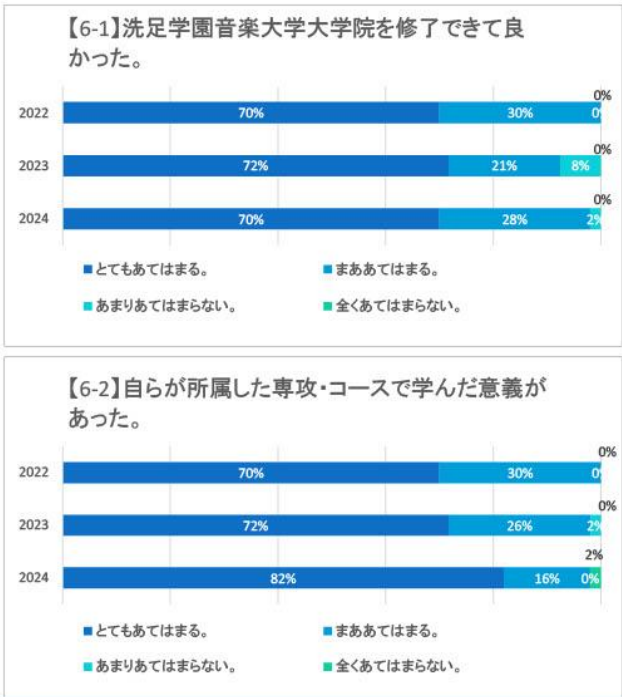
※「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計



・【5-6】プロフェッショナルについて、90%の学生があてはまる※と回答している。一方で、「あまりあてはまらない」と回答した学生の割合が前年度から増えた唯一の項目である。

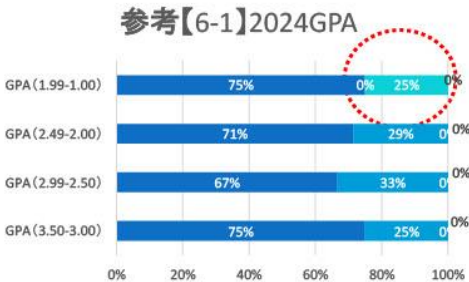
※「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計

⑤大学生活全般について

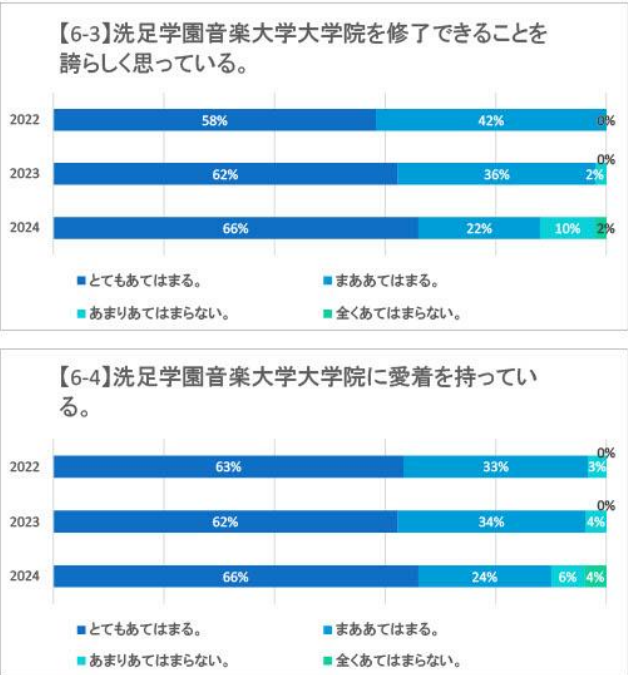


・【6-1】【6-2】どちらも高い満足度を示している。

・【6-1】GPA別にみると、低GPAレベルに、満足度の低い学生がいるものの、全体的には高い満足度を示している。



⑤大学生活全般について(つづき)

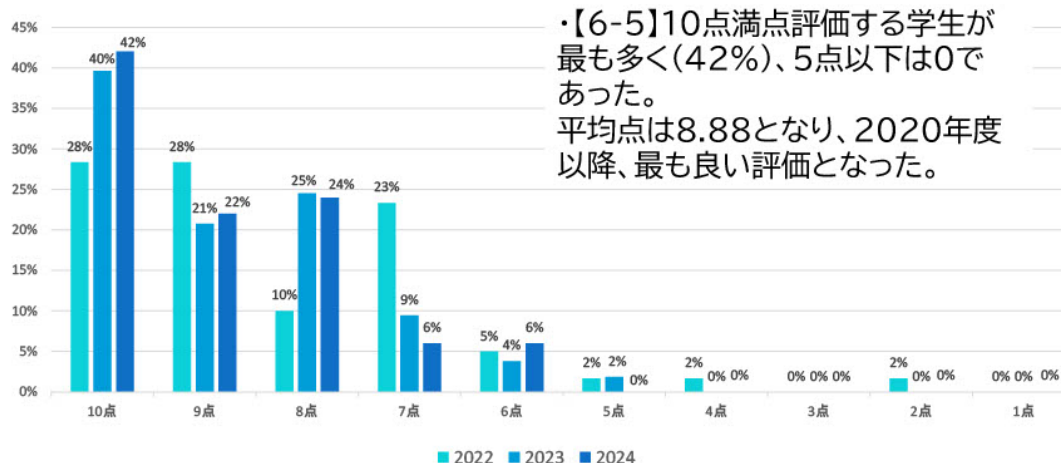


・【6-3】【6-4】「とてもあてはまる」と回答した学生が増えている一方で、あてはまらない※とする学生も増えている。あてはまらないと回答した学生は、【6-5】同様、中位GPA(2.00-2.99)に属しており、これらの学生の満足度が分散する傾向が見られる。

※「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の合計

⑤大学生活全般について(つづき)

【6-5】本学における、あなたの2年間の大学院生生活の総合的な満足度を10点満点で評価してください。

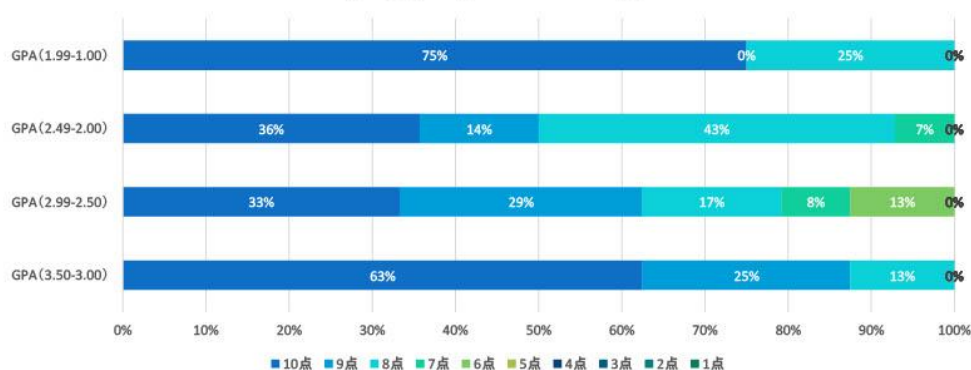


15

⑤大学生活全般について(つづき)

・【6-5】GPA別にみると、中位GPA(2.00-2.99)の学生は、評価が分散する傾向がある。
GPA上位の学生は全員8点以上と総じて評価が高く、一方で下位であっても満足度は高い。

参考【6-5】2024コース別



16